工　事　設　計　書

所属部課名	建設部 下水道維持課

部長	審議監	審議監	課長	補佐	主幹	設計者	審査

工事名称	新松戸中継ポンプ場耐水化工事
工事場所	松戸市新松戸七丁目157番地
事業年度	令和　8　年度
工事価格	一金、　　円
工事費計	一金、　　円

松 戸 市

設計概要	(1) 電気設備工事 受変電設備及び動力制御盤の更新　一式 電気設備の移設　一式 (2) 土木工事 鋼製架台の設置　一式

松 戸 市

工　事　内　訳　書（合　算）

費　目	工　種	種　別	細　別	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要
工事費								
	機器費	電気		式	1			
		機器費　計		式	1			
	工場製作原価	土木		式	1			
		工場製作原価　計		式	1			
	直接工事費	電気		式	1			機器費除く
		土木		式	1			工場製作原価除く
		直接工事費　計		式	1			
	共通仮設費	電気		式	1			
		土木		式	1			
		共通仮設費　計		式	1			
	現場管理費	電気		式	1			現場管理費+据付間接費+設計技術費
		土木		式	1			
		現場管理費　計		式	1			
	工事原価	電気		式	1			機器費除く
		土木		式	1			工場製作原価除く
		工事原価　計		式	1			

工　事　内　訳　書（合　算）

費　目	工　種	種　別	細　別	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要
	一般管理費等	電気		式	1			
		土木		式	1			
		一般管理費等　計		式	1			
	スクラップ控除	電気		式	1			
		スクラップ控除　計		式	1			
工事価格		電気		式	1			機器費+工事原価+一般管理費等+スクラップ控除
		土木		式	1			工場製作原価+工事原価+一般管理費等
		工事価格　計		式	1			
	消費税及び地方消費税相当額（10%）			式	1			
工事費計				式	1			

内　訳　書　（電　気　設　備　）

費　目	工　種	種　別	細　別	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要
工事費								
	機器費			式	1			第１号内訳書
	直接工事費	材料費	本設分	式	1			第２号内訳書
			移設分	式	1			第３号内訳書
			補助材料費	式	1			
			材料費　計	式	1			
		労務費	一般労務費	式	1			第４号内訳書
			技術労務費	式	1			第５号内訳書
			労務費　計	式	1			
		複合工費		式	1			第６号内訳書
		直接経費	機械経費（積上げ）	式	1			第７号内訳書
			機械経費（率計上）	式	1			
			直接経費　計	式	1			
		仮設費		式	1			
		直接工事費　計		式	1			機器費除く
	間接工事費	共通仮設費	率計上	式	1			
			準備費	式	1			第８号内訳書
		共通仮設費　計		式	1			
		現場管理費		式	1			

内　訳　書　（電　気　設　備）

費　目	工　種	種　別	細　別	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要
		据付間接費	据付(技術者)間接費	式	1			
			据付(機器)間接費	式	1			
			据付間接費　計	式	1			
	間接工事費　計			式	1			共通仮設費計+現場管理費+据付間接費計
	据付工事原価			式	1			直接工事費計+間接工事費計
	設計技術費			式	1			
	工事原価			式	1			機器費除く
		一般管理費等		式	1			
		スクラップ控除		式	1			第９号内訳書
工事価格				式	1			機器費+工事原価+一般管理費等+スクラップ控除
	消費税及び地方消費税相当額			式	1			10%
工事費計				式	1			

内　訳　書　（土木）

費　目	工　種	種　別	細　別	単位	数　量	単　価	金　額	摘　要
工事費								
	工場製作原価			式	1			第１０号内訳書
	直接工事費	架台設置工		式	1			第１１号内訳書
		基礎工		式	1			第１２号内訳書
		土工		式	1			第１３号内訳書
		直接工事費　計		式	1			工場製作原価除く
	間接工事費	共通仮設費		式	1			
		現場管理費		式	1			
		間接工事費　計		式	1			
	工事原価			式	1			工場製作原価除く
		一般管理費等		式	1			
工事価格				式	1			工場製作原価+工事原価+一般管理費等
	消費税及び地方消費税相当額			式	1			10%
工事費計				式	1			

第　1　号　内訳書	機器費					1　式
名　　称	規　格　・　寸　法	単 位	数 量	単　価	金　額	摘　要
高圧受電盤	屋外自立閉鎖型 W1600×H2300×D1800程度 LBS、コンデンサ VCT設置余地 3Φ75kVA 6.6ｋV/210V 所内電源TF	面	1			
汚水ポンプ制御盤	屋外自立閉鎖型 W1200×H2150×D500程度 PLC制御装置 Web監視装置 ポンプ制御用投込式水位計 (0-5m、4-20mA、ケーブル40m、 SUSチェーン、錘)	面	1			
合計						

第　2　号　内訳書	材料費　本設分					1　式
名　　称	規　格　・　寸　法	単 位	数 量	単　価	金　額	摘　要
柱上高圧気中負荷開閉器	屋外形過電流ロック機構 鋼板製 7.2kV 300A 12.5kA VT､LA、GR付	台	1			
電線	IE/F 22mm2	m	25.0			
電線	IE/F 14mm2	m	104			
電線	IE/F 5.5mm2	m	10.1			
電線	IE/F 3.5mm2	m	6.05			
高圧ケーブル	6kV CET/F 38mm2	m	20.4			
低圧ケーブル	600V CET/F 150mm2	m	13.5			
低圧ケーブル	600V CE/F 14mm2-3c	m	143			
低圧ケーブル	600V CE/F 5.5mm2-2c	m	47.5			
低圧ケーブル	600V CE/F 2mm2-3c	m	71.0			
制御ケーブル	CEE/F 1.25mm2-4c	m	71.3			
制御ケーブル	CEE/F 1.25mm2-2c	m	23.8			
付属材料費		式	1			
高圧端末処理材	6kV CVT 38mm2　屋外	組	1			
小計						

第　2　号　内訳書	材料費　本設分					1　式
名　　称	規　格　・　寸　法	単 位	数 量	単　価	金　額	摘　要
高圧端末処理材	6kV CVT 38mm2　屋内	組	1			
低圧端末処理材	600V CVT 150mm2　屋内	組	4			
電線管	G82　ネジなし管	m	6.93			
電線管	G54　ネジなし管	m	6.16			
電線管	G36　ネジなし管	m	1.54			
電線管	HIVE82	m	2.75			
電線管	HIVE28	m	4.07			
電線管	HIVE22	m	8.80			
電線管	HIVE16	m	4.95			
電線管付属品		式	1			
波付硬質ポリエチレン管	FEP 80	m	5.17			
波付硬質ポリエチレン管	FEP 50	m	29.5			
波付硬質ポリエチレン管	FEP 30	m	25.2			
アルミケーブルラック	W600×H80	m	1.37			
小計						

第　2　号　内訳書	材料費　本設分					1　式
名　　称	規　格　・　寸　法	単 位	数 量	単　価	金　額	摘　要
アルミケーブルラック	W300×H80	m	9.98			
アルミケーブルラック	W200×H80	m	1.58			
ラック付属品		式	1			
コンクリート柱	12-19-3.5	本	1			
ポール底版	丸型No.1	個	1			
コンクリート根かせ	1200×240×170　バンド付き	個	1			
腕金	1.8-ヒ	本	1			
腕金	1.2-ト	本	2			
丸型アームタイ	2.3×25×945	本	2			
低圧用ラック		個	1			
強力バンド	19cm	個	1			
自在アームバンド	UABD 317	個	3			
自在バンド	3BD-HD17	個	7			
自在バンド	IBT-212	個	12			
小計						

第　2　号　内訳書	材料費　本設分					1　式
名　　称	規　格　・　寸　法	単 位	数 量	単　価	金　額	摘　要
自在バンド	IBT-315	個	4			
耐張ストラップ	L=220	個	1			
中線引留金物	CP用	個	1			
高圧耐張がいし	普通形	個	6			
高圧ピンがいし	普通形	個	3			
足場ボルト	CP用	本	24			
支線	38mm2　(7/2.6)　10m	kg	2.50			
ステーブロック	700×350　ロッド付き	組	1			
玉がいし		個	1			
巻付グリップ	38mm2用	個	1			
支線ガード	硬質ポリエチレン	本	1			
ケーブル埋設標	コンクリート製	本	6			
ケーブル埋設シート	150ダブル	m	23.3			
異種管接続材	FEP 80用	個	2			
小計						

第　2　号　内訳書	材料費　本設分					1　式
名　　称	規　格　・　寸　法	単 位	数 量	単　価	金　額	摘　要
異種管接続材	FEP 50用	個	4			
異種管接続材	FEP 30用	個	1			
ベルマウス	FEP 50用	個	4			
ベルマウス	FEP 30用	個	1			
接地用銅板	□900×t1.5mm 黄銅ろう付け リード線付き	枚	5			
接地埋設標	140×90×1.5t 黄銅製	枚	5			
接地埋設標	コンクリート製	本	5			
金属製プルボックス	SS　防水　400×400×200mm 溶融亜鉛メッキ	個	1			
直線接続材	600V CE/F 14mm2-3c用 （樹脂注入型）	組	6			
直線接続材	600V CE/F 5.5mm2-2c用 （樹脂注入型）	組	2			
直線接続材	600V CE/F 2mm2-3c用 （樹脂注入型）	組	1			
直線接続材	CEE/F 2mm1.25-4c用 （樹脂注入型）	組	3			
直線接続材	CEE/F 1.25mm2-2c用 （樹脂注入型）	組	1			
小計						
合計						

第　3　号　内訳書	材料費　移設分					1　式
名　　称	規　格　・　寸　法	単 位	数 量	単　価	金　額	摘　要
電線	IE/F 22mm2	m	36.1			
電線	IE/F 14mm2	m	10.1			
低圧ケーブル	600V CET/F 150mm2	m	26.1			
付属材料費		式	1			
波付硬質ポリエチレン管	FEP 80	m	9.57			
高圧端末処理材	6kV CVT 38mm2　屋内	組	1			
低圧端末処理材	600V CVT 150mm2　屋内	組	2			
接地用銅覆鋼棒	φ14×1,500L	本	3			
接地リード端子	φ14×22mm2×500L	本	3			
合計						

第　4　号　内訳書　　一般労務費　　1　式						
名　　称	規　格　・　寸　法	単 位	数 量	単　価	金　　額	摘　　要
電工		人				
普通作業員		人				
合計						

第　5　号　内訳書	技術労務費					1　式
名　　称	規　格　・　寸　法	単 位	数 量	単　価	金　額	摘　要
技術者	据付・単体調整	人				
合計						

第　6　号　内訳書	複合工費					1　式
名　　称	規　格　・　寸　法	単 位	数 量	単　価	金　額	摘　要
掘削		m3	18.3			単価表-1
埋戻し		m3	16.9			単価表-2
砂		m3	1.4			
タンパ締固め		m3	1.4			単価表-3
構造物とりこわし		m3	0.80			単価表-4
積込（コンクリート殻）		m3	0.80			単価表-5
アルミパネル	引違い窓	式	1			
合計						

第　7　号　内訳書	機械経費（積上げ）					1　式
名　　称	規　格　・　寸　法	単 位	数 量	単　価	金　額	摘　　要
ラフテレーンクレーン		時間	12			単価表-6
高所作業車		日	1			単価表-7
合計						

第　8　号　内訳書	準備費					1　式
名　　称	規　格　・　寸　法	単 位	数 量	単　価	金　額	摘　要
現場発生品運搬	混合廃棄物	t	1.9			単価表-8
産業廃棄物処分	混合廃棄物	m3	1.9			
産業廃棄物運搬処分	鉄筋コンクリート	m3	0.8			
発生土運搬処分		m3	1.4			
ケーブルナゲット処理		kg	233			
合計						

第　9　号　内訳書	スクラップ控除					1　式
名　　称	規　格　・　寸　法	単 位	数 量	単　価	金　額	摘　要
スクラップ（銅くず）	2号銅線くず	kg	65			
合計						

第　１０　号　内訳書　　工場製作原価

１　式

名　　称	規　格　・　寸　法	単 位	数　量	単　　価	金　　額	摘　　要
Ｇ－ＥＣＳパイル	φ190.7×2.5m　13組	式	1			
鋼製架台	溶融亜鉛メッキ	式	1			
合　　計						

第　１１　号　内訳書　　架台設置工

１　式

名　　称	規　格　・　寸　法	単 位	数 量	単　価	金　　額	摘　　要
Ｇ－ＥＣＳパイル	施工費	式	1			
鋼製架台	施工費	式	1			
合　　計						

第　１２　号　内訳書　　基礎工

1　式

名　称	規　格　・　寸　法	単 位	数 量	単　価	金　額	摘　要
コンクリート	無筋・鉄筋構造物 24-12-25	m3	1.1			単価表-9
型枠	一般型枠　鉄筋・無筋構造物	m2	2.5			単価表-10
溶接金網　丸鉄線	3.2×100×100mm	m2	4.0			
コンクリート	小型構造物 21-12-25	m3	0.2			単価表-11
型枠	一般型枠　均しコンクリート	m2	0.5			単価表-12
基礎砕石	RC40-0　7.5cmを超え12.5cm以下	m2	4.5			単価表-13
合　計						

第　１３　号　内訳書　　土工

1　式

名　称	規　格　・　寸　法	単 位	数 量	単　価	金　額	摘　要
掘削		m3	3.9			単価表-1
埋戻し		m3	2.2			単価表-2
発生土運搬処分		m3	2.0			
合　計						

第 1 号　単価表　　掘削　　1　m3　当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ（クローラ型）［標準型］	排出ｶﾞｽ対策型(第3次基準) ﾊﾞｹｯﾄ容量0.28m3	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手（特殊）		%	R1			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3　当り					

SCB210100
J01　土質 = 1　　土砂
J02　施工方法 = 5　　上記以外（小規模）
J05　施工数量 = 7　　小規模（標準）

第 2 号　単価表　　埋戻し　　1　m3　当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ（クローラ型）［後方超小旋回型］	排出ｶﾞｽ対策型(第3次基準) ﾊﾞｹｯﾄ容量0.28m3	%	K1			
タンパ及びランマ［ランマ］	通称６０～８０ｋｇ級	%	K2			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
運転手（特殊）		%	R3			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
ガソリン	レギュラー	%	Z2			

第 2 号　単価表　　埋戻し　　1　m3　当り　　2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
	1 m3　　当り					

SCB210410
J01　施工方法 = 5　　上記以外（小規模）　　J02　土質 = 1　　土砂
J04　費用の内訳 = 1　　全ての費用

第 3 号　単価表　　タンパ締固め　　1　m3　当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
タンパ及びランマ	質量　通称６０～８０ｋｇ級	%	K1			
労務構成比		%	R			
特殊作業員		%	R1			
普通作業員		%	R2			
材料構成比		%	Z			
ガソリン	レギュラー	%	Z1			
	1m3　当り					

SCB210450
J01　費用の内訳 = 1　　全ての費用

第 4 号　単価表　　構造物とりこわし　　1　m3　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
鉄筋構造物	昼間　機械施工　制約無	m3	1			
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1m3　当り					

第 5 号　単価表　　積込（コンクリート殻）　　1　m3　当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ（クローラ型）［標準型］	排出ｶﾞｽ対策型(2014年規制) ﾊﾞｹｯﾄ容量0.8m3	%	K1			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
運転手（特殊）		%	R2			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	1 m3　当り					

SCB224260
　J01　費用の内訳 = 1　　全ての費用

第 6 号　単価表　　ラフテレーンクレーン［油圧伸縮ジブ型］　排ガス（2014年）最大吊上能力25t吊　　1 時間 当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）		人				
軽油		L	15			
ラフテレーンクレーン［油圧伸縮ジブ型］	排出ｶﾞｽ対策(2014年規制)最大吊上能力25t吊	時間				
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1時間　当り					

SK0403058

J01　機械使用条件コード = 0
J02　岩石割増しコード = 1　　岩石工の割増対象にしない
J03　機械損耗部品補正 = 2　　良好
J04　供用日当り運転時間[時間] = 4
J05　交替制による割増し = 1　　交替制を適用しない
J06　異常補正 = 0
J07　基礎価格補正 = 1　　しない
J08　輸送補正 = 1　　しない
J09　運転日当り運転時間[時間] = 4

第 7 号　単価表　　高所作業車［トラック架装・伸縮ブーム］　バスケット型 高11.0～12.0m 200kg　　1　日　当り

名称	規格	単位	数量	単価	金額	摘要
運転手（特殊）		人				
軽油		L	22			3.6*6
高所作業車[ﾄﾗｯｸ架装･伸縮ﾌﾞｰﾑ･ﾊﾞｽｹｯﾄ型]	最大地上高11.0~12.0m 最大積載荷重200kg	供用日	1			6/6
諸雑費（まるめ）		式	1			
計	1日　当り					

SK0433002

J01　機械使用条件コード = 33
J02　岩石割増しコード = 1　岩石工の割増対象にしない
J03　機械損耗部品補正 = 2　良好
J04　供用日当り運転時間[時間] = 6
J05　交替制による割増し = 1　交替制を適用しない
J06　異常補正 = 0
J07　基礎価格補正 = 1　しない
J08　輸送補正 = 1　しない
J09　運転日当り運転時間[時間] = 6

第 8 号　単価表　　現場発生品及び支給品運搬　　1　t　当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
トラック［クレーン装置付］	通称２ｔ積級　吊能力２．９ｔ	%	K1			
労務構成比		%	R			
運転手（特殊）		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
材料構成比		%	Z			
軽油		%	Z1			
	１ｔ　当り					

SCB010410
J01　ﾄﾗｯｸ機種 = 1　　ｸﾚｰﾝ装置付通称2t積級吊能力2.9t　　J02　DID区間の有無 = 2　　有り
J04　片道運搬距離（km）DID有 = 5　　9.0km以下

第 9 号　単価表　　コンクリート　　1　m3　当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
材料構成比		%	Z			
生コンクリート	２４－１２－２５（２０）　高炉 W/C55%以下	%	Z1			
	1m3　当り					

SCB240010

J01　構造物種別 = 1	無筋･鉄筋構造物	J02　打設工法 = 4	人力打設
J03　ｺﾝｸﾘｰﾄ規格 = 23	24-12-25 (20)　(高炉)	J05　養生工の種類 = 2	一般養生
J07　現場内小運搬の有無 = 2	無し	J13　費用の内訳 = 1	全ての費用

第 10 号　単価表　　型枠　　1　m2　当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
労務構成比		%	R			
型わく工		%	R1			
普通作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
	1ｍ2　当り					

SCB240210
J01　型枠の種類 = 1　　一般型枠　　J02　構造物の種類 = 3　　鉄筋･無筋構造物（合板円形型枠）

第 11 号　単価表　　コンクリート　　1　m3　当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
土木一般世話役		%	R2			
特殊作業員		%	R3			
材料構成比		%	Z			
生コンクリート	２１－１２－２５（２０）　高炉 W/C55%以下	%	Z1			
	1m3　当り					

SCB240010

J01　構造物種別 = 2	小型構造物	J02　打設工法 = 4	人力打設
J03　ｺﾝｸﾘｰﾄ規格 = 21	21-12-25 (20)　(高炉)	J05　養生工の種類 = 2	一般養生
J07　現場内小運搬の有無 = 2	無し	J13　費用の内訳 = 1	全ての費用

第 12 号　単価表　　型枠　　1　m2　当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
労務構成比		%	R			
型わく工		%	R1			
普通作業員		%	R2			
土木一般世話役		%	R3			
	1 m2　当り					

SCB240210
J01　型枠の種類 = 1　　一般型枠　　J02　構造物の種類 = 5　　均しｺﾝｸﾘｰﾄ

第 13 号　単価表　　基礎砕石　　1　m2　当り

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
標準単価			P			
機械構成比		%	K			
バックホウ（クローラ）［標準］	バケット容量０．８ｍ３	%	K1			
労務構成比		%	R			
普通作業員		%	R1			
特殊作業員		%	R2			
運転手（特殊）		%	R3			
土木一般世話役		%	R4			
材料構成比		%	Z			
再生クラッシャーラン	ＲＣ－４０	%	Z1			
軽油		%	Z2			

第 13 号　単価表　　基礎砕石　　1　m2　当り　　2 頁

名称	規格	単位	構成比	東京単価	積算単価	摘要
	1 m2　　当り					

SCB221110
J01　砕石の厚さ = 2　　7.5cmを超え12.5cm以下　　J02　砕石の種類 = 8　　再生ｸﾗｯｼｬﾗﾝ 40～0
J03　費用の内訳 = 1　　全ての費用

積算書

新松戸中継ポンプ場耐水化工事

工種・種類（数量一式）
直接工事費
共通仮設費
現場管理費
一般管理費等
スクラップ控除
工事価格
消費税
工事費計

※直接工事費＝機器費 計 ＋ 工場製作原価 計 ＋ 直接工事費 計

新松戸中継ポンプ場耐水化工事

仕様書

令和８年度

松戸市建設部下水道維持課

第1章　総則

§1 一般共通事項

1. 工事名称

   新松戸中継ポンプ場耐水化工事

2. 工事場所

   松戸市新松戸七丁目 157 番地

3. 工事期間

   契約締結日の翌日から令和9年7月30日まで

4. 概要

   本仕様書は、「新松戸中継ポンプ場耐水化工事」に適用するものであって、法令その他特別に定めるものの他は、すべて本仕様書に準拠し、監督職員の指示により工事の施工にあたらなければならない。

5. 工事目的

   本工事は、新松戸中継ポンプ場の洪水時における揚水機能を確保するための耐水化工事を行うものである。

§2 工事概要

1.	電気設備工事	受変電設備及び動力制御盤の更新	一式
		電気設備の移設	一式
2.	土木工事	鋼製架台の設置	一式

§3 一般仕様

1. 施工規則及び契約条例

   請負者は契約、条例及びその他本市の定める規則に準拠して施工する他、電気設備に関する技術基準及びその他関連規則に従って施工する。

2. 製作の着手

   請負者は契約後速やかに本仕様書及び設計書に基づき、施工計画書並びに使用材料届を作成し、監督職員の承認を得ること。この承認を得た後でなければ製作に着手してはならない。また、本設備の機器が製作者固有の設計による製品で本仕様書及び設計図と異なるときは、事前に理由を申し出て監督職員の承諾を得なければならない。

3. 施工

   本仕様書及び設計書に記載のないものでも、本設備の目的並びに工事施工上当然必要なものは監督職員の指示に従い、請負者の負担で整備または施工しなければならない。

4. 機器・材料搬入検査

   工事に使用する主要な機器・材料について監督職員の検査を受けること。

§４ 提出書類

1. 施工計画書

工事概要、施工工程、現場組織、安全管理、主要資材、施工方法、緊急体制等を記載する。

2. 完成図書

施工図面、検査成績書、据付記録、試運転記録、取扱説明書提出すること。
なお、図面はCADデータ（dwgまたは dxf）も提出すること。

3. 工事写真帳

（1）現地及び工場における写真を工程ごとに撮影すること。
（ア）施工前 （イ）施工中 （ウ）施工後

（2）写真は工程・細別・撮影項目ごとに分類し、工事の進捗状況に合わせて写真帳に整理すること。

（3）工事施工前と施工後の写真は、同一方向、同一箇所で撮影し、写真帳の第1頁に両者を対比して掲載すること。

（4）工事名称、工事場所、状況説明等を記入した黒板を同時に撮影すること。

§５ その他

1. 疑義

本工事において、本仕様書に記載なき事項で疑義が生じた場合は、監督職員と協議し必要な対応をすること。

2. 建設副産物の処分

本工事で発生した産業廃棄物は請負者が適正に処分を行い、契約書、マニュフェストの写しを提出すること。また、ケーブル（銅線くず）は有価物処分すること。

3. 工事用電力、用水等

本工事で要する電力、用水、用地（敷地内）はポンプ場の運用に支障のない範囲で、無償で支給するが、これらに要する仮設材料等は請負者の負担とする。

4. 既存施設への影響

本工事は施設機能を確保しながらの施工となる。作業内容及び工程については事前に計画書、手順書等を監督職員に提出し、維持管理者と調整のうえ、維持管理及び保守点検に支障がないようにすること。

5. 発注データの貸与

完成図面作成等の利用に供するため、発注図面の CAD データ（dwg）を受注者に貸与する。提供する CAD データは本工事の施工目的以外に使用してはならない。

6. 週休2日制適用工事

本工事は週休２日制適用工事である
受注者は現場閉所による週休 ２ 日工事として取り組むこと、なお、予定価格

には月単位の週休２日（4週８休以上）達成相当の経費を補正している

受注者が工事着手前に完全週休２日（土日）の取組を希望し、かつ対象期間内において完全週休 ２ 日（土日）相当を達成した場合は、経費に補正係数を乗じ変更するものとする。

週休２日制の実施にあたっては、「松戸市建設工事週休２日制適用工事実施要領」に基づき行うこと。

7. 熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行工事

本工事は、熱中症対策に資する現場管理費の補正を試行する対象工事とする。受注者は、契約後速やかに、本試行の適用について、監督職員と協議すること。

工事の実施にあたっては、「松戸市熱中症対策に資する現場管理費の補正の試行要領」に基づき行うこと。

8. 情報共有システムの活用について

本工事は、情報共有システムの対象工事である。ただし、活用による生産性向上が見込まれないなどと判断される場合は、受発注者間の協議により、実施の有無を決定することとする。実施にあたっては「松戸市土木工事情報共有システム試行要領」に基づくものとする。

9. 電力引込

現在の高圧電力は南側道路（けやき通り）から地中キャビネット供給されている。今回耐水化にあたり架空線供給するため、ポンプ場北側に引込柱を設け、架空線で供給することを電力会社と事前協議している。施工に際し、電力会社との協議及び申請を速やかに行うこと。

第2章　工事内容

§1 機器仕様

1. 共通事項

（1）公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）令和 7 年版（国土交通省大臣官房庁営繕部）、公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）令和 7 年版（国土交通省大臣官房庁営繕部）に準拠する

（2）鋼製架台上に設置するため耐震性能はクラスS、設計用標準震度 2.0 とする

（3）盤扉ハンドルは鍵付きとする（鍵番号は協議とする）

（4）扉ハンドルのツメ当たり面及びロッド当たり面には、塗装保護のため筐体側にステンレス板等を取り付ける

（5）屋外設置なので盤内温度上昇を考慮し換気装置、遮熱板等を考慮すること

（6）盤の正面には名称銘板（温度差による伸縮を考慮したもの）を取り付ける

（7）盤内収納機器には用途名シール等を取り付ける

（8）主回路配線接続箇所には不可逆性のサーモラベルを貼り付ける

（9）盤内に取付ける主要機器で、銘板が見難くなるものは、盤内の見やすい位置に副銘板を取り付ける

（10）盤内照明を取り付け、ドアスイッチで点灯させる

（11）保守用コンセントの用途銘板には使用可能な電圧、電流値を記載する

（12）盤塗装色は協議とする

（13）製造年月、製造番号及び製造者名等を記載した製造銘板並びに工事名称、完成年月、請負者名等を記載した工事銘板を、扉裏面下部等に取付ける

2. 高圧キュービクル

主な仕様は以下の通りとする

3Φ3W　6,600V　50Hz

VCT、WHM 盤内収納

LBS　200A　バリア付き　溶断表示接点付×2

動力変圧器　3Φ　75kVA　油入　6.600V／210V　トップランナー

高圧進相コンデンサ

配線用しゃ断器　3P400AF、3P250AF

接地端子付き（EA（D種共用）、EA（LA）、EB）

盤内制御電源、アクセサリ電源付き

3. ポンプ制御盤

主な仕様は以下の通りとする

3Φ3W　210V　50Hz

漏電しゃ断器、電動機保護用継電器、電動機浸水検知器、電動機過熱保護

（既存汚水ポンプは新明和工業㈱製　CN200－P　3 台である）

照明用変圧器　1Φ　3kVA　210V／105V

接地端子(ED(筐体用)、ED(ELCB 用))
ポンプ等自動制御用プログラマブルロジックコントローラ(PLC)
投込み式水位計、付属ケーブル 40m、錘、吊下げ用 SUS チェーン 6m、水位計用電源、警報設定器(PLCに組込も可)
Web監視装置(メール通報機能、Webサイトの画面作成、運転日報、警報記録、水位監視機能、UPS(30 分程度)を含む)
盤内制御電源、アクセサリ電源付

§2 電気設備工事

1. 使用材料

(1) 引込設備

引込柱:コンクリート製 12-19-3.5
コンクリート根かせ:1,200×240×170 バンド付き 2 個
底板:丸型 No.1 450mm
装柱材:一式(引込柱の位置及び支線の位置、腕金等は電力会社と協議して決定すること)

(2) 高圧気中負荷開閉器

7.2kV 300A 12.5kA ZPD、LA、VT、GR付き
SOG 制御装置、収納箱(SUS)付き

2. 接地工事

(1) 接地種別

〈新設時〉

高圧気中負荷開閉器用	A種 (SOG 収納箱D種と共用)
高圧キュービクル用	A種 (低圧動力盤D種と共用)
	A種 (LA)
	B種
汚水ポンプ制御盤	D種 (ELCB)

〈移設時〉

高圧キュービクル用	A種 (低圧動力盤D種と共用)
	A種 (LA)
	B種

(2) 接地極

〈新設時〉

接地用銅板	□900×t1.5mm

〈移設時〉

接地用打込式銅覆鋼棒	Φ14×1,500mm

（3）保護材料等

波付硬質ポリエチレン管(FEP)

接地埋設柱

接地埋設標(黄銅製)

埋設表示シート W150 二重折り

3. 据付工事

（1）一般事項

（ア）詳細な位置の決定は施工図を作成し、監督職員の承諾を得てから施工に着手する

（イ）本工事施工中、構造物等の関係で発生する、機器の位置変更、配線径路等の軽微な変更は、協議のうえ施工承諾図を提出し、監督職員の承諾を得て変更することができるが、変更の範囲は設計の本質的機能を変えるものであってはならない

（2）据付

（ア）地震力算定は「建築設備耐震設計・施工指針」に準じる

（イ）機器の据付けに際して、固定ボルトの耐震計算書を提出すること

（3）開口部の処置据付

（ア）低圧負荷ケーブル等は既存建屋引き違い窓部から屋内へ配線する

（イ）窓は配線に支障ない場所で固定し、開口部はアルミサッシ材等で閉塞する

4. 配線及び負荷設備への接地配線

（1）ケーブル及びケーブルラック、保護管等

（ア）ケーブルは設計図書を参照し、許容電流、電圧降下を検討し計算書を提出すること

（イ）ケーブルはEM電線、EMケーブルを使用する(仮設ケーブルを含む)

（ウ）ケーブルラックはアルミ製で親桁 80(mm)を使用し、鋼製架台下部以外の屋外はラックカバーを取り付ける

（エ）ケーブルラック内配線は、ケーブルを適宜ラック子桁に結束する

（オ）地中電線路は波付硬質ポリエチレン管を使用し、地上部で異種管接続材を使用して厚鋼電線管と接続する

（2）端末処理

（ア）高圧ケーブルはプレハブ式端末処理材を使用する

（イ）低圧ケーブルの公称断面積 60(mm^2)以上は端末処理材を使用する

（ウ）低圧ケーブルの公称断面積 60(mm^2)未満、制御ケーブルは自己融着テープ、電気絶縁用ビニルテープ等を用いて端末処理をする

（エ）ケーブル末端及び直線接続箇所にはケーブルの仕様、負荷名称、布設年月等を記載した合成樹脂製又はファイバ製の名札やラベルを取り付ける

（オ）動力ケーブル端子部は相色別の絶縁キャップを取り付ける
（カ）制御ケーブルの各芯線は端子記号と同じマークを刻印したマークバンド又はチューブを取り付ける（端子部には絶縁キャップを取り付けるが、マークチューブでも可とする）
（キ）幹線ケーブル、負荷ケーブルの端子部には不可逆性の感熱表示ラベル等を取り付ける
（ク）ポンプ制御盤、可搬式発電機に引込むケーブルは、適切な支持物に固定し、接続部に過大な応力が掛からないようにする
（ケ）盤へのケーブル引込部はパテ等で塞ぎ、防虫処理を行う
（3）負荷設備への接続及び接地
（ア）新設する汚水ポンプ制御盤から布設する各ケーブルは、既存ポンプ制御盤付近でカプセル式レジン注入型直線接続材を使用して接続する
（イ）ブロワは直接電動機まで電線管で配線する
（ウ）ホイスト電源は配線コネクタ等で接続する
（エ）新設汚水ポンプ制御盤ELCB回路はELCB専用接地とするので筐体と混触させない
（オ）ポンプ制御盤から直線接続箇所まではD種（ELCB）接地幹線を布設し、各負荷へボルトコネクタ等を使用し分岐して接地する

5．切替方法
（ア）本施設は地域の下水をポンプ圧送する施設であり、長時間の設備停止はできないため、機器更新に伴う切替方法は図面を参照し、監督職員との協議のうえ手順書を作成すること
（イ）場内の可搬式発電機を活用して停電時間の低減を図ること
なお、晴天時の日中時間帯は１時間程度停電が可能である
（ウ）自家用電気工作物の移設時や新設する高圧設備は、使用前検査、電気主任技術者の立会、電力会社の作業等が必要なので、関係者と十分に協議すること
（エ）自家用電気工作物の試験、主任技術者の立会に関する費用、電力会社の作業、立会に関する費用は受注者の負担とする
（オ）全ての負荷を切替え後、既存ポンプ制御盤を解体撤去し、室内にケーブルラックを布設しケーブルを整線、結束する
（カ）常設されているキャプタイヤケーブルは無償で使用できる。
（キ）消費した燃料は補充すること

6．撤去工事
（1）既存高圧キュービクル仮移設後、コンクリート基礎を撤去する
（2）既存高圧キュービクル仮移設後、不用となった接地極、波付硬質ポリエチレン管等は、杭基礎工事に支障がある範囲を撤去する

（3）残置するケーブル、電線管端末は絶縁テープ等で処理し、工事名称、日付を明示したラベル等を取り付ける

（4）全ての負荷設備を新設した設備に切替えた後に、既存高圧キュービクル、仮設ケーブルは撤去する

§3 土木工事

1. 使用材料

（1）杭基礎

（ア）工法	G－ECSパイルTP工法
（イ）準拠規格	NETIS番号:KT－16127－A
（ウ）仕様	Φ190.7×7×2.5m 一般構造用炭素鋼材 （STK490 t＝7.0 翼付 2.5m）
（エ）数量	13 組
（オ）使用目的	耐水化架台基礎
（カ）使用条件	常設

（2）鋼製架台

（ア）仕様	柱・梁 H-200×100×5.5×8、H-15×75×5×7 Φ190.7×7、PL12～6（溶融亜鉛メッキ）	
	設備下	縞鋼板 t6（溶融亜鉛メッキ）
	床材	ファインフロアW250H40t1.6ノンスリップ
	鉄骨階段	ササラ PL-12、踏板 CHPL-6 手摺付き
	外周手摺	H＝1.1m 2 段
（イ）数量	1 式	
（ウ）使用目的	耐水化架台	
（エ）使用条件	常設	

2. 据付工事

（1）杭基礎

G－ECSパイル工法で施工し、鋼製架台柱の接合面は鋼製架台側と調整する

（2）鋼製架台

（ア）杭基礎との接合面は杭基礎側と調整する

（イ）溶融亜鉛メッキ処理された材料を現地加工、調整した際には溶融亜鉛メッキと同等の表面処理補修を行うこと

建設副産物について

1. 共通事項

（1） 受注者は、建設副産物対策を適切に実施するため、現場における責任者を明確にすること。また、責任者は、再生資源利用計画、再生資源利用促進計画、廃棄物処理計画等の内容について現場担当者の教育を十分に行うとともに、下請負者にもこれを周知徹底すること。

（2） 請負者は「建設リサイクル推進計画2020」に基づき、本工事に係る「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書」を「建設副産物情報交換システム（COBRIS）」により作成し、施工計画書に含め各1部提出すること。また、計画の実施状況（実績）については、「再生資源利用実施書」及び「再生資源利用促進実施書」並びに「建設副産物情報交換システム工事登録証明書」を同システムにより作成し、各1部提出するとともに、これらの記録を完成後一年間保存しておくこと。

（3） 建設副産物の処理に先立ち、別紙「建設副産物処理承認申請書」により監督職員の確認を受け、同申請書を2部提出すること。

（4） 建設廃棄物の処分にあたって、排出事業者（元請業者）は処分業者と建設廃棄物処理契約を締結し、建設廃棄物処理委託契約書（厚生省作成または建設八団体廃棄物対策連絡会作成様式）を監督職員に提示するとともに、同契約書の写しを提出すること。なお、収集運搬業務を収集運搬業者に委託する場合は、別に収集運搬業者と建設廃棄物処理契約を締結すること。

（5） 建設副産物の処理完了後速やかに別紙「建設副産物処理調書」を作成し、監督職員に2部提出するとともに、実際に要した処分費（受入伝票、写真等）を証明する資料を監督職員に提示し、確認を受けること。

（6） 建設廃棄物については、「建設廃棄物処理におけるマニフェストシステム（集荷目録制）」の実施に基づく、建設廃棄物マニフェスト A 票、B2票、D 票、E 票（複写式伝票）を監督職員に提示し、確認を受けるとともに、D 票、E 票の写しを提出すること。また、排出事業者は A、B2、D、E 票を5年間保存する。

（7） 発生した余剰材は、元請業者が、責任をもって処理することが基本であり、資材として再利用される場合以外は協力業者や資材納入業者に持ち帰らせてはならない。

2. 建設発生土

建設発生土（3.4m3）は、柏市岩井 296-1、
片道運搬距離 15.1 ㎞の㈱エスブロックに搬出するものとする。
建設発生土の処分については、仮置きについて考慮するものとする。

3. 改良土

発生土の内、図面等の指示により改良土を埋戻し材として利用する場合は千葉県知事の許可を得た改良プラントに発生土を搬出し、改良土を得るものとする。

4. 路盤廃材

本工事により発生する路盤廃材(　　m3)は、　　市　　町地先、
片道運搬距離　　㎞の　　に運搬し、処理するものとする。

5. 建設廃棄物

本工事により発生する

1)アスファルト塊(　　m3)は、　　市　　町地先、
片道運搬距離　　㎞の　　に運搬し、処理するものとする。

2)コンクリート塊(0.8m3)は、柏市高田 1116-32、
片道運搬距離 9.9 ㎞の ㈱丸昭建材 に運搬し、処理するものとする。

3)建設発生木材(　　m3)は、　　市　　町地先、
片道運搬距離　　㎞の　　に運搬し、処理するものとする。

4)建設汚泥(　　m3)は、　　市　　町地先、
片道運搬距離　　㎞の　　に運搬し、処理するものとする。

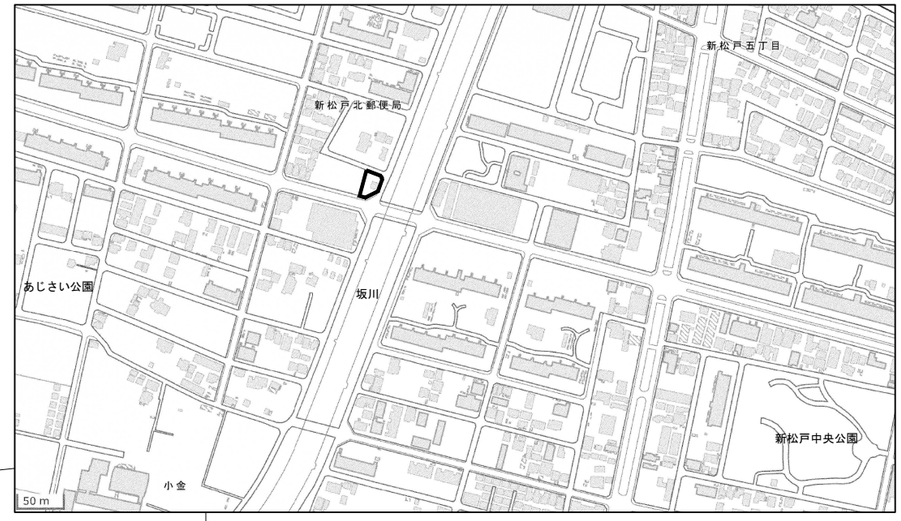
5)建設混合廃棄物(1.9m3)は、松戸市稔台 5-15-17、
片道運搬距離 7.9 ㎞の ㈲スズキサービス に運搬し、処理するものとする。

なお、運搬に先立ち受け入れ条件等を確認し、監督職員に報告するものとする。発注後、上記の指定処理により難い場合は、監督職員と協議するものとする。片道運搬距離は積算上処理分区ごとに代表地点から算出した距離であり、実際の運搬距離と差異が生じた場合においては設計変更の対象としない。また、元請業者は次の事項に留意し建設廃棄物を運搬しなければならない。

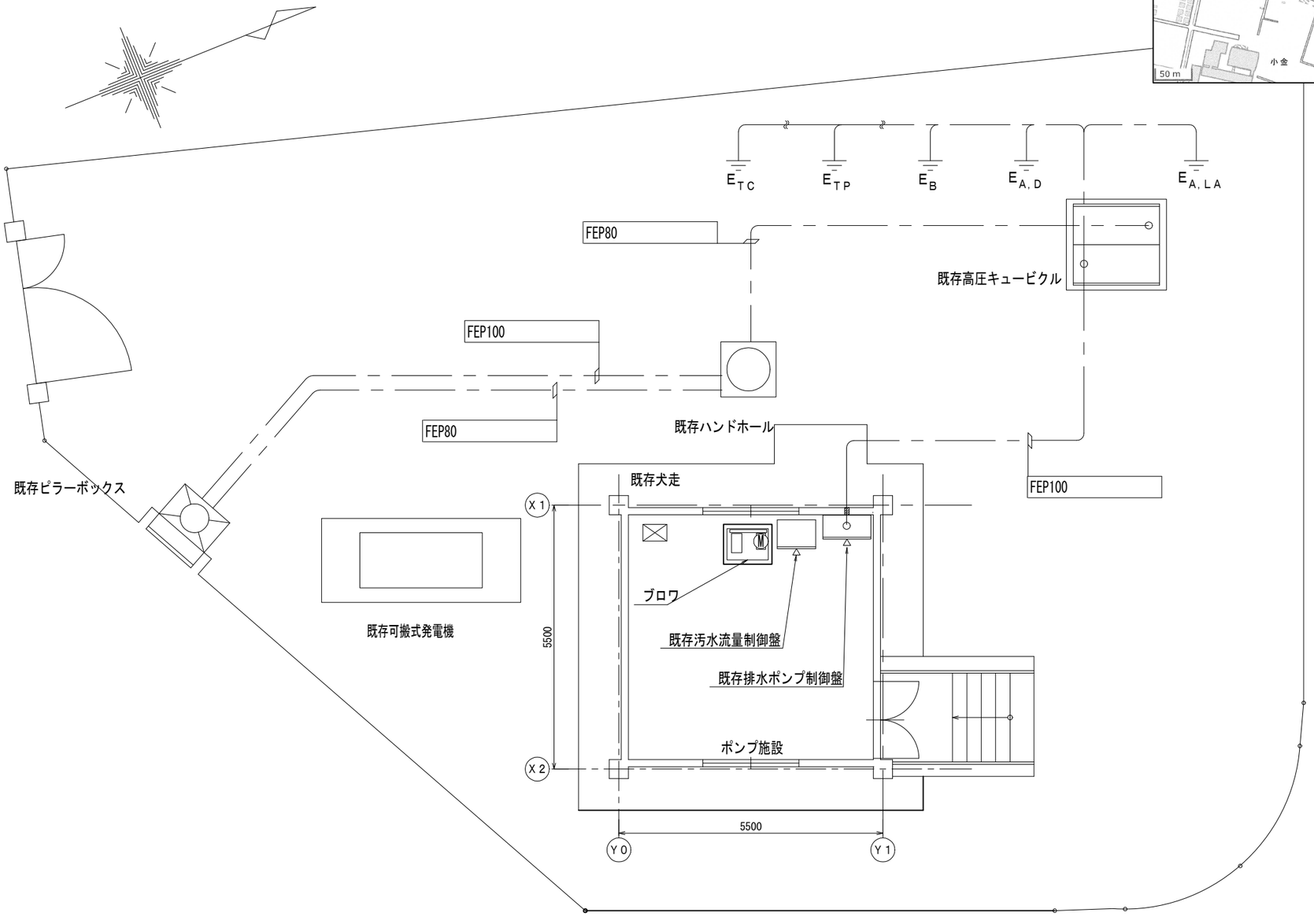
(1)廃棄物処理法に規定する処理基準を遵守すること。
(2)運搬経路の適切な設定並びに車両及び積載量等の適切な管理により騒音、振動塵芥等の防止に努めるとともに、安全な運搬に必要な措置を講じること。
(3)運搬途中において積替えを行う場合は、関係者と打ち合わせを行い、環境保全に留意すること。
(4)混合廃棄物の積替保管に当たっては、手選別等により廃棄物の性状を変えないこと。

新松戸中継ポンプ場耐水化工事
図　面　目　録

図番	図　面　名　称	縮 尺
PE-01	案内図・平面図	A1:1/50　A3:1/100
PE-02	全体平面図（更新後）	A1:1/50　A3:1/100
PE-03	全体配線図（更新後）	A1:1/50　A3:1/100
PE-04	ポンプ施設断面図（更新後）	A1:1/50　A3:1/100
PE-05	単線結線図・接地幹線系統図（更新前）	NON
PE-06	単線結線図・接地幹線系統図（更新後）	NON
PE-07	盤外形図・Web監視装置システム構成図	A1:1/20　A3:1/40
PE-08	配線表（更新・仮設・撤去）	NON
PE-09	更新切替方法（案）	NON
C-01	鋼製架台・基礎杭図	A1:1/50　A3:1/100
C-02	鋼製架台階段図	A1:1/20　A3:1/40
C-03	鋼製架台手摺図	図示
C-04	手摺展開図	A1:1/15　A3:1/30

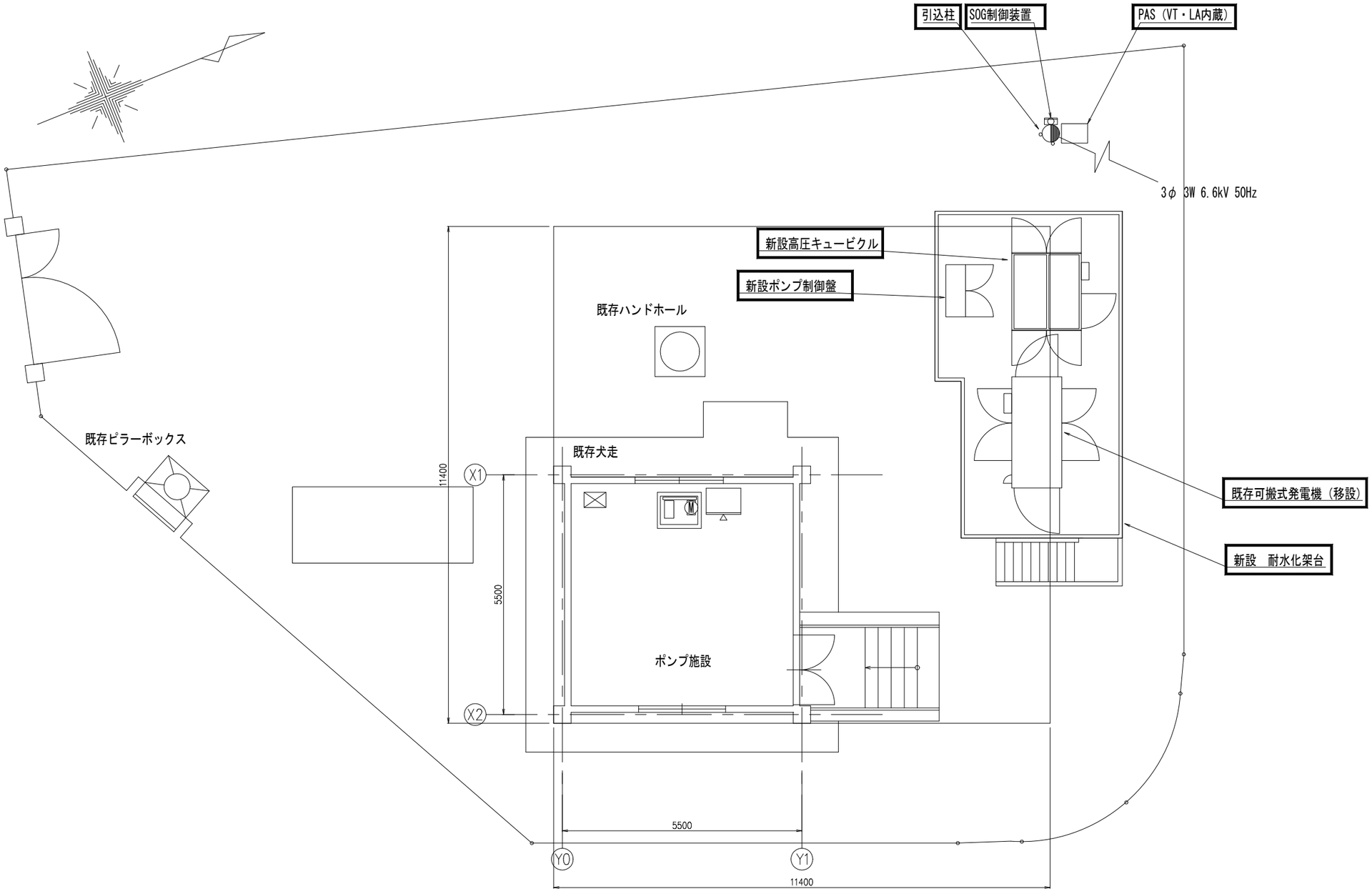


案内図



平面図（更新前）

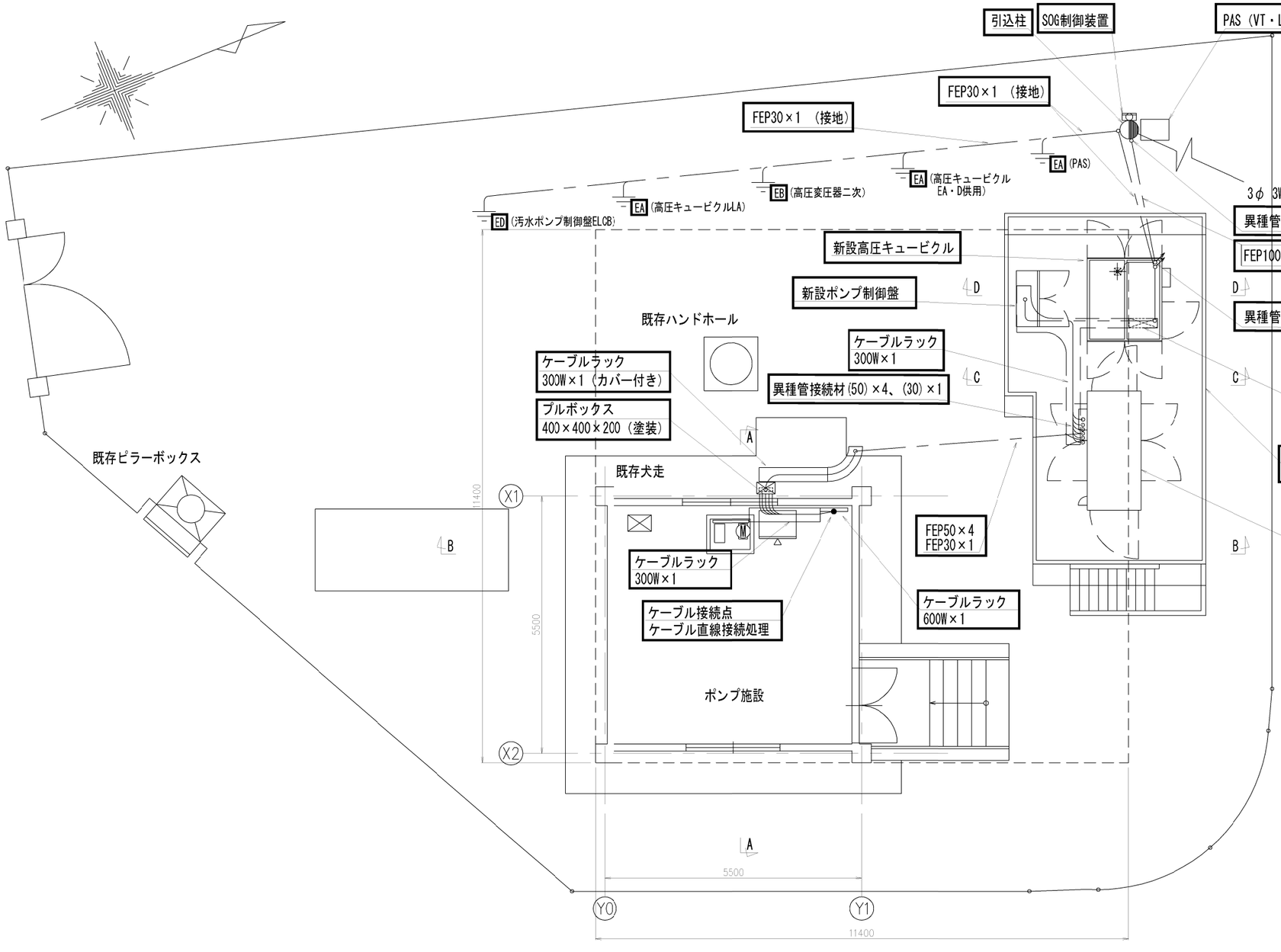
令和 8 年度	
工 事 名	新松戸中継ポンプ場耐水化工事
工事場所	松戸市新松戸七丁目157番地
図面種別	案内図・平面図
縮　　尺	A1:1/50　　A3:1/100
図面番号	全　１３　葉ノ内　ＰＥ－０１　号
松戸市建設部下水道維持課	



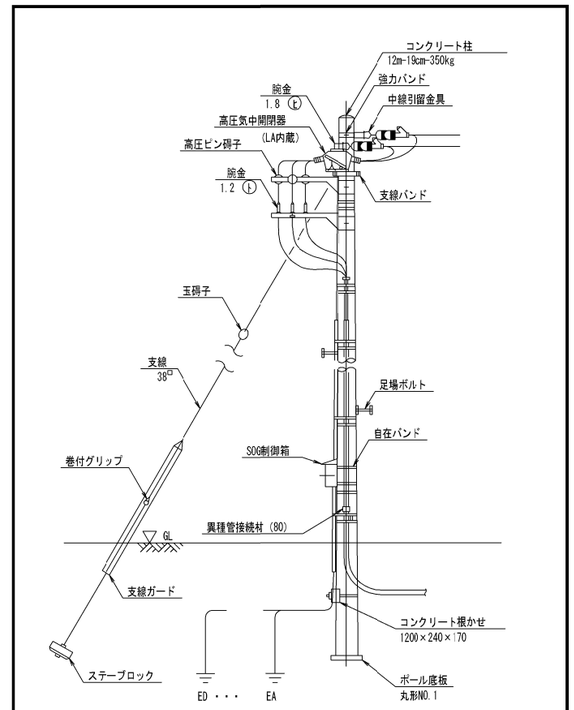
注 記

1. □ は、今回を示す。

令和 8 年度	
工 事 名	新松戸中継ポンプ場耐水化工事
工事場所	松戸市新松戸七丁目１５７番地
図面種別	全体平面図（更新後）
縮　　尺	Ａ１：１／５０　　Ａ３：１／１００
図面番号	全　１３　葉ノ内　第　ＰＥ－０２　号
松戸市建設部下水道維持課	



全体平面図（更新後）

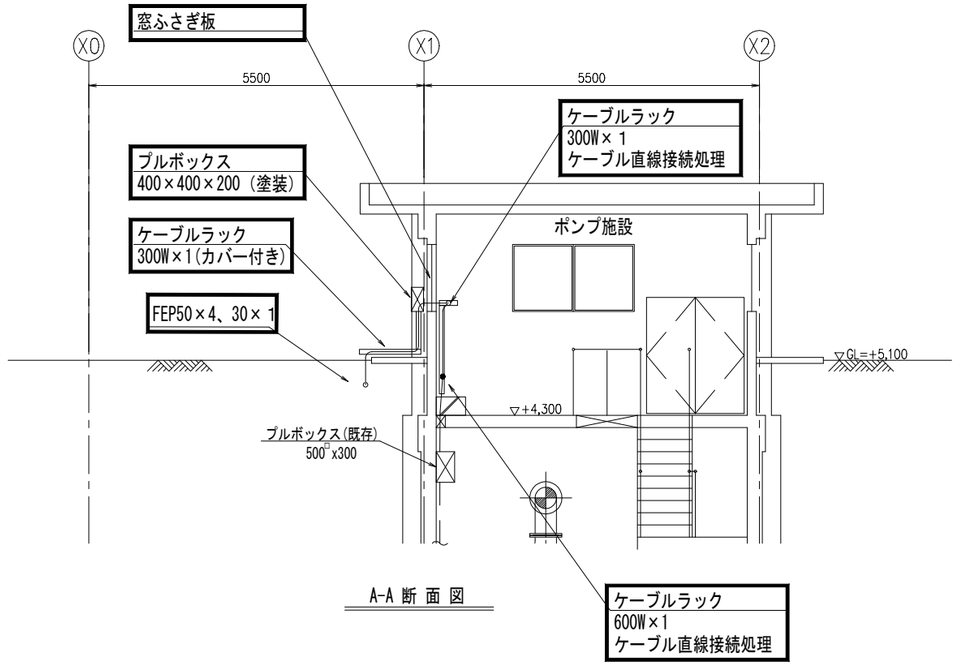


装柱図 S=NONE

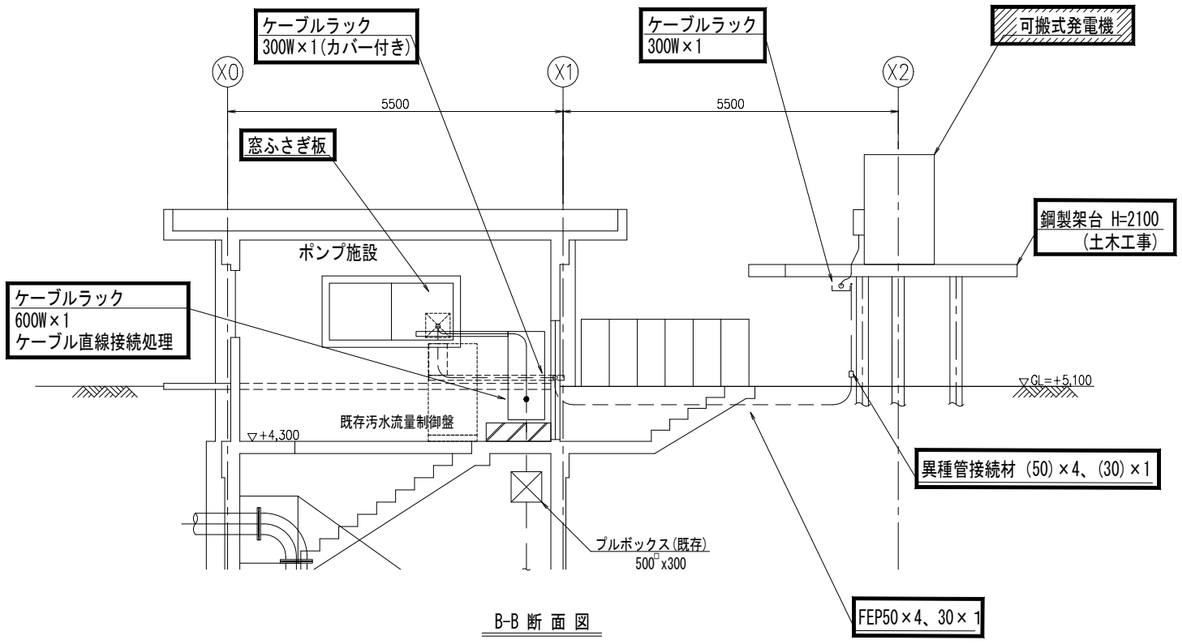
注記

1. ▭ は、今回を示す。
2. ▨ は、移設を示す。

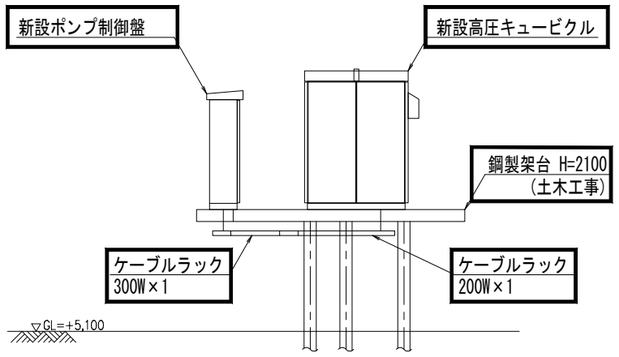
令和 8 年度	
工事名	新松戸中継ポンプ場耐水化工事
工事場所	松戸市新松戸七丁目１５７番地
図面種別	全体配線図（更新後）
縮尺	A1：1／50　A3：1／100
図面番号	全 13 葉ノ内 PE－03 号
松戸市建設部下水道維持課	



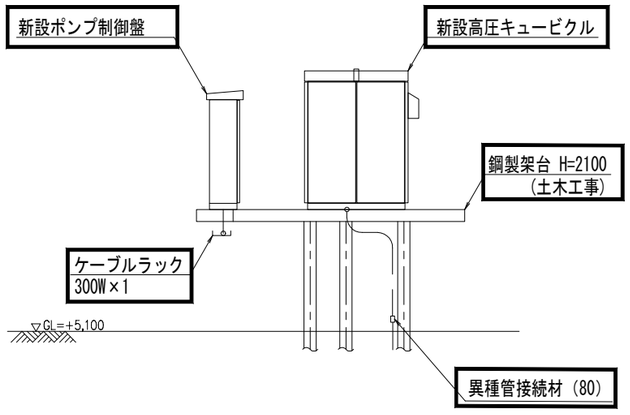
A-A 断 面 図



B-B 断 面 図



C-C 断 面 図

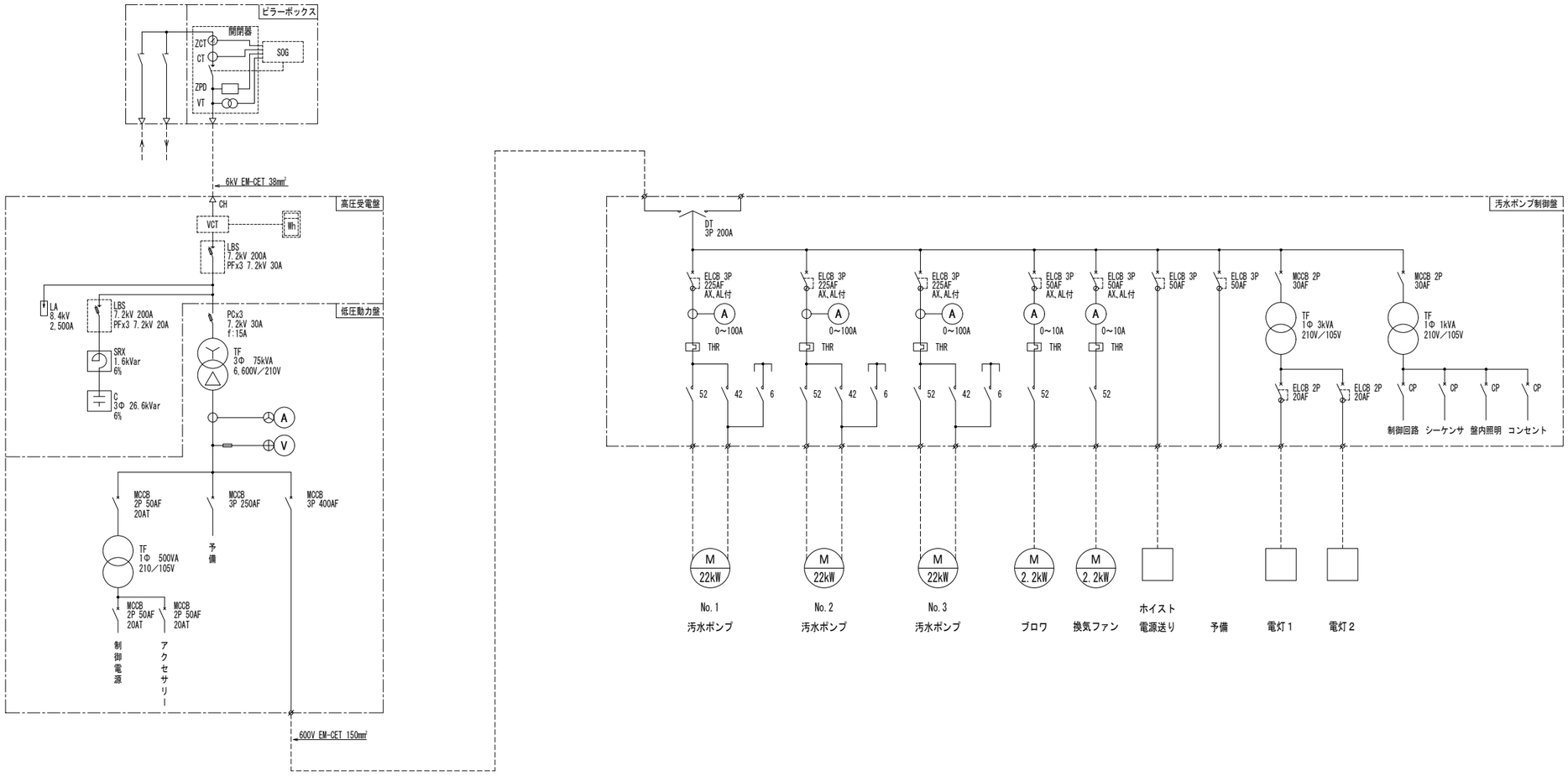


D-D 断 面 図

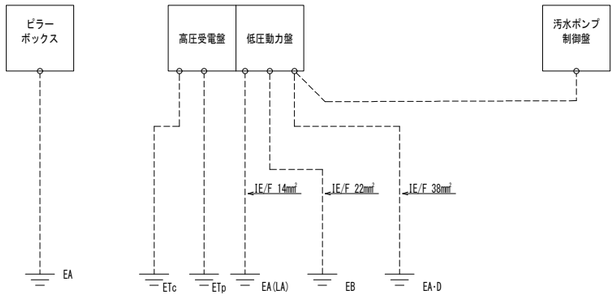
注 記

1. □ は、今回を示す。
2. ▨ は、移設を示す。
3. 特記なきものは既設とする。

令和 8 年度	
工 事 名	新松戸中継ポンプ場耐水化工事
工事場所	松戸市新松戸七丁目１５７番地
図面種別	ポンプ施設断面図(更新後)
縮　尺	Ａ１：１／５０　　Ａ３：１／１００
図面番号	全　１３　葉ノ内　第　ＰＥ－０４　号
松戸市建設部下水道維持課	

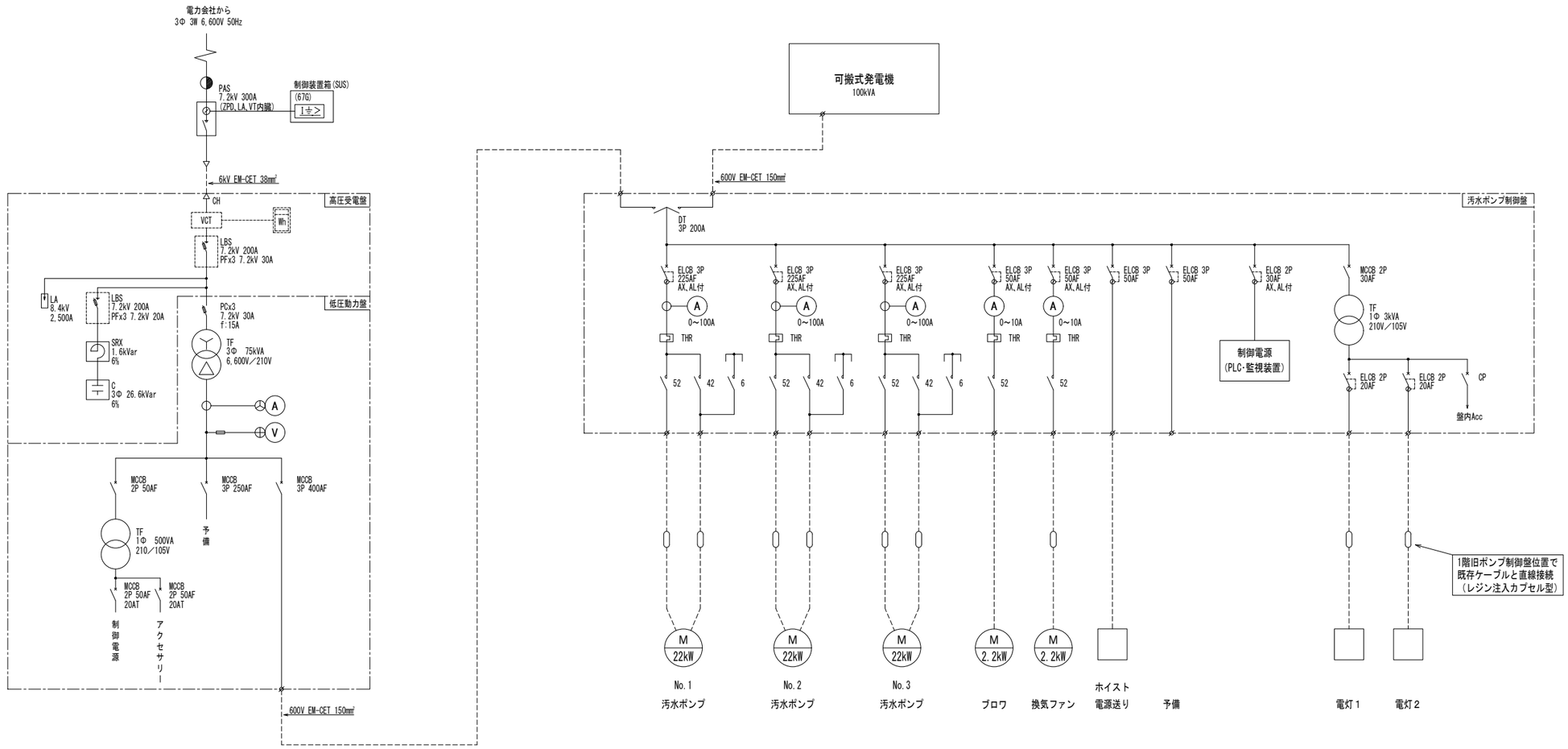


既存単線結線図

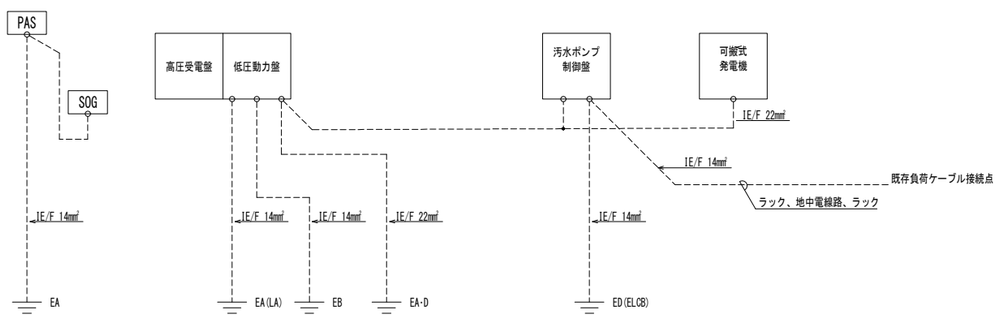


接地幹線系統図

令和 8 年度	
工 事 名	新松戸中継ポンプ場耐水化工事
工事場所	松戸市新松戸七丁目１５７番地
図面種別	単線結線図・接地幹線系統図(更新前)
縮　　尺	NON
図面番号	全　１３　葉ノ内　第　ＰＥ－０５　号
松戸市建設部下水道維持課	

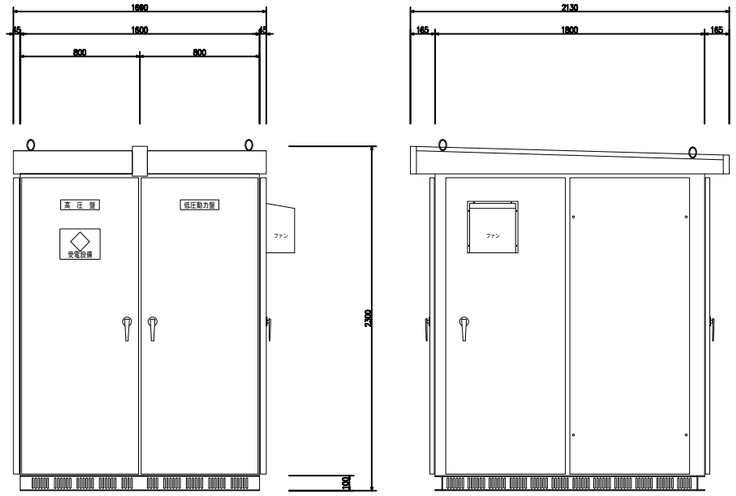


単線結線図

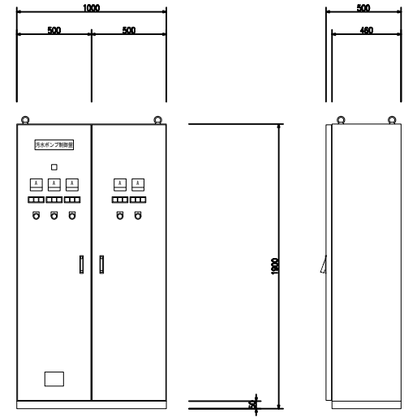


接地幹線系統図

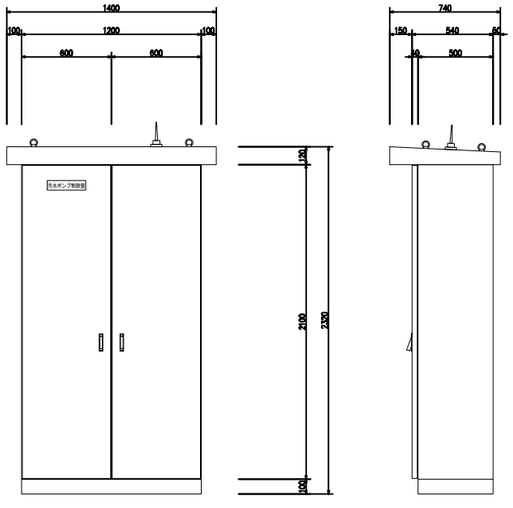
令和 8 年度	
工 事 名	新松戸中継ポンプ場耐水化工事
工事場所	松戸市新松戸七丁目１５７番地
図面種別	単線結線図・接地幹線系統図(更新後)
縮　　尺	NON
図面番号	全　１３　葉ノ内　第　ＰＥ－０６　号
松戸市建設部下水道維持課	



高圧受変電盤　外形図（参考）



汚水ポンプ制御盤　外形図（既存）
（概算重量：400 kg）
（新設汚水ポンプ制御盤に切替後撤去する）



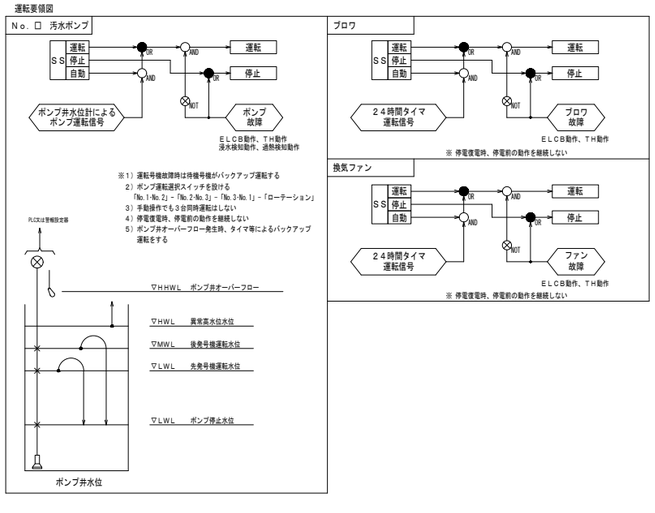
（新設）汚水ポンプ制御盤　外形図（参考）
筐体 2.3t 以上　　器具取付板　1.6t 以上
必要に応じた熱対策を施すこと

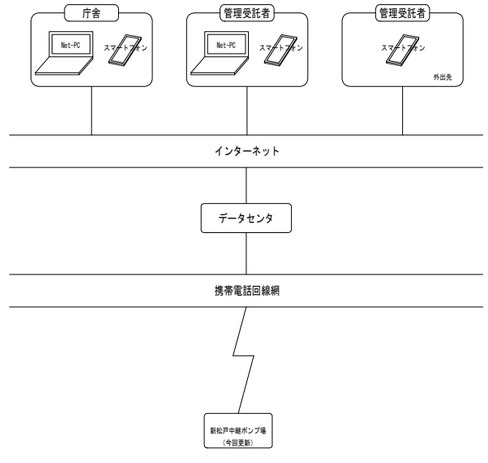
監視項目表

番　号	監　視　項　目	備　　考
1	停電	
2	No.1汚水ポンプ運転	運転時間・日月報・運行履歴
3	No.2汚水ポンプ運転	運転時間・日月報・運行履歴
4	No.3汚水ポンプ運転	運転時間・日月報・運行履歴
5	ブロワ運転	運行履歴
6	排気ファン運転	運行履歴
7	No.1汚水ポンプ故障	警報履歴
8	No.2汚水ポンプ故障	警報履歴
9	No.3汚水ポンプ故障	警報履歴
１０	ブロワ故障	警報履歴
１１	排気ファン故障	警報履歴
１２	ポンプ井異常高水位	警報履歴、水位計検出
１３	ポンプ井オーバーフロー	警報履歴、LS動作
１４	ポンプ井水位	０－５ｍ

※　Web監視画面の作成も含む

運転要領図





Web監視装置システム構成図（参考）

令和 8 年度	
工 事 名	新松戸中継ポンプ場耐水化工事
工事場所	松戸市新松戸七丁目１５７番地
図面種別	盤外形図・Web監視装置システム構成図
縮　　尺	A1：1/20　　A3：1/40
図面番号	全　１３　葉ノ内　第　ＰＥ－０７　号
松戸市建設部下水道維持課	

新松戸中継ポンプ場（改修後）（ 1/ 1）　　配　線　表

配線番号	自 記号	自 名称	至 記号	至 名称	配線仕様 種別、サイズ、芯数、本数	端末 屋外	端末 屋内	接地線 種別、サイズ	電線管 種別、サイズ、本数	備考
1	PAS	高圧気中負荷開閉器		高圧キュービクル	6kV CET/F 38㎟	1	1		VE半わり 82mm	
	〃	〃		〃	〃				Gねじなし 82mm	
	〃	〃		〃	〃				FEP 80mm	
2	〃	〃	EA（PAS）	接地極	IE/F 14㎟				HIVE 16mm	
	〃	〃	〃	〃	〃				FEP 50mm	
3	〃	〃		SOG制御装置	付属ケーブル				HIVE 22mm	SUS収納箱付き
4	〃	〃		〃				IE/F 5.5㎟	HIVE 16mm	
5		高圧キュービクル（低圧動力盤）	EA・D（供用）	接地極	IE/F 22㎟				HIVE 28mm	
6		高圧キュービクル（低圧動力盤）	EA（LA）	〃	〃 14㎟				FEP 30mm	
7		高圧キュービクル（低圧動力盤）	EB	〃	〃 14㎟					
8	LCP	ポンプ制御盤（新設）	ED（ELCB）	〃	〃 14㎟					
9		高圧キュービクル（低圧動力盤）	LCP	ポンプ制御盤（新設）	〃 22㎟					EA・D（供用）接地幹線
10		EA・D（供用）接地幹線（ラック上）		可搬式発電機	〃 22㎟					〃
11		高圧キュービクル（低圧動力盤）	LCP	ポンプ制御盤（新設）	600V CET/F 150㎟		2			
12		可搬式発電機	〃	〃	〃		2			
13	LCP	ポンプ制御盤（新設）		No.1 汚水ポンプ （直線接続箇所）	600V CE/F 14㎟－3c			IE/F 14㎟	G 54mm	
14	〃	〃		〃	〃 14㎟－3c				FEP 50mm	ポンプ付属ケーブルと
15	〃	〃		〃	CEE/F 1.25㎟－4c					直線接続
16	〃	〃		No.2 汚水ポンプ （直線接続箇所）	600V CE/F 14㎟－3c			IE/F 14㎟	G 54mm	
17	〃	〃		〃	〃 14㎟－3c				FEP 50mm	ポンプ付属ケーブルと
18	〃	〃		〃	CEE/F 1.25㎟－4c					直線接続
19	〃	〃		No.3 汚水ポンプ （直線接続箇所）	600V CE/F 14㎟－3c			IE/F 14㎟	G 54mm	
20	〃	〃		〃	〃 14㎟－3c				FEP 50mm	ポンプ付属ケーブルと
21	〃	〃		〃	CEE/F 1.25㎟－4c					直線接続
22	〃	〃		ばっ気ブロワ（ブロワに直接配線）	600V CE/F 2㎟－3c			IE/F 3.5㎟		
23	〃	〃		換気ファン （直線接続箇所）	〃 2㎟－3c			〃 3.5㎟	G 54mm	HIVE(22)
24	〃	〃		ホイスト （直線接続箇所）	〃 2㎟－3c			〃 3.5㎟	FEP 50mm	
25	〃	〃		電灯（1） （直線接続箇所）	〃 5.5㎟－2c			〃 3.5㎟		
26	〃	〃		電灯（2） （直線接続箇所）	〃 5.5㎟－2c			〃 3.5㎟		
27	〃	〃		レベルスイッチ （直線接続箇所）	CEE/F 1.25㎟－2c				G 36mm	
28	〃	〃		投込式水位計	投込式水位計付属ケーブル				FEP 30mm	
29	〃	〃		既存汚水ポンプ制御盤（直線接続箇所）	IE/F 14㎟					ED（ELCB）接地幹線

新松戸中継ポンプ場（仮設）（ 1/ 1）　　配　線　表

配線番号	自 記号	自 名称	至 記号	至 名称	配線仕様 種別、サイズ、芯数、本数	端末 屋外	端末 屋内	接地線 種別、サイズ	電線管 種別、サイズ、本数	備考
T 1		高圧キュービクル（低圧動力盤）	EA・D（供用）	接地極	IE/F 22㎟					
T 2		〃	EA（LA）	接地極	〃 14㎟					
T 3		〃	EB	接地極	〃 14㎟					
T 4		〃		ポンプ制御盤（既存）	〃 22㎟				―――	
T 5	UGS	ピラーボックス		高圧キュービクル	6kV CVT 38㎟ （既存再使用）		1		FEP 80mm	仮設ケーブルB
T 6		高圧キュービクル（低圧動力盤）		ポンプ制御盤（既存）	600V CET/F 150㎟		2		―――	仮設ケーブルC
T 7		可搬式発電機		〃	600V 2PNCT 60㎟×3		2		―――	仮設ケーブルA

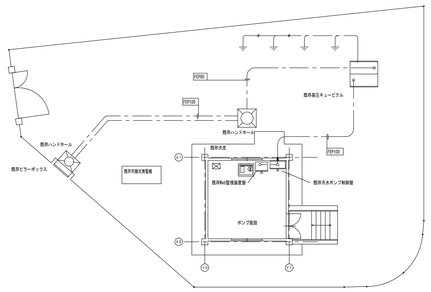
新松戸中継ポンプ場（撤去）（ 1/ 1）　　配　線　表

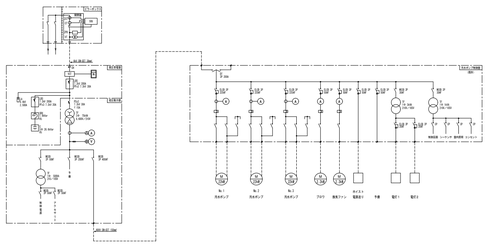
配線番号	自 記号	自 名称	至 記号	至 名称	配線仕様 種別、サイズ、芯数、本数	端末 屋外	端末 屋内	接地線 種別、サイズ	電線管 種別、サイズ、本数	備考
R 1	UGS	ピラーボックス		高圧キュービクル	6kV CVT 38㎟					
R 2		高圧キュービクル		ポンプ制御盤（既存）	600V CET/F 150㎟					

※配線番号の記号は下記とする。
T：仮設（切替後は全て撤去）　T7ケーブルは既存布設済み、設備切替後は撤去し1階に収納する

R：撤去

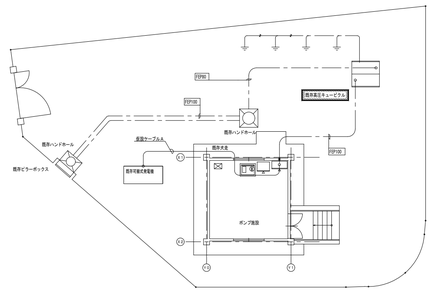
令和 8 年度	
工事名	新松戸中継ポンプ場耐水化工事
工事箇所	松戸市新松戸七丁目157番地
図面種別	配線表（更新・仮設・撤去）
縮尺	NON
図面番号	全 13 葉ノ内 第 PE－08 号
松戸市建設部下水道維持課	





単線結線図

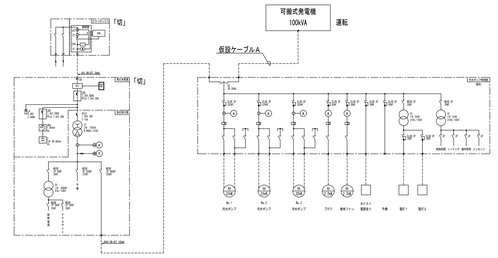
切替法案（現状）（Step 0）



仮設ケーブルA 600V 2PNCT 60mm²×3

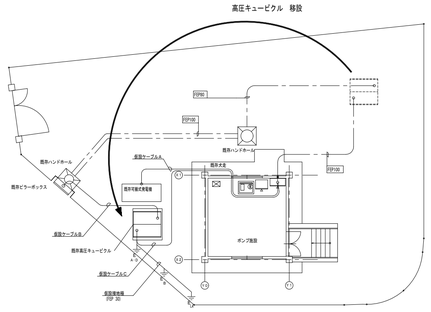
※ 仮設ケーブル、接地線は全て露出配線

1−1 仮設ケーブルA（資材品、布設済み）接続
1−2 既存高圧キュービクル「切」→UGS「切」
1−3 可搬式発電機運転、汚水ポンプ制御盤に給電
1−4 可搬式発電機運転、汚水ポンプ制御盤に給電



単線結線図

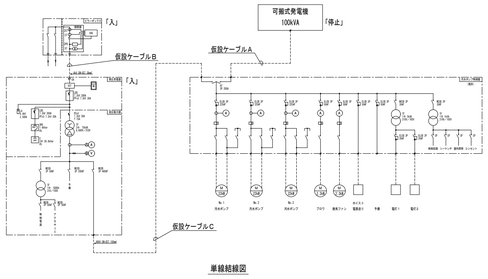
切替法案（Step 1）



仮設ケーブルA 600V 2PNCT 60mm²×3
仮設ケーブルB 6kV CVT 38mm² （FEP80）（既存再使用）
仮設ケーブルC 600V CET/F 150mm² IE/F 22mm²（FEP100）

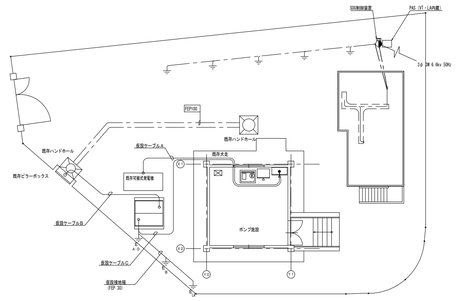
※ 仮設ケーブルBは露出FEPで保護

2−1 既存高圧ケーブル引き戻し、仮設ケーブルBとして再布設、仮設ケーブルC布設
2−2 高圧キュービクル移設・ケーブル接続
2−3 高圧キュービクル・高圧ケーブル 検査
2−4 UGS「入」、高圧キュービクル「入」
2−5 可搬式発電機「停止」
2−6 汚水ポンプ制御盤「商用電源」で運転



単線結線図

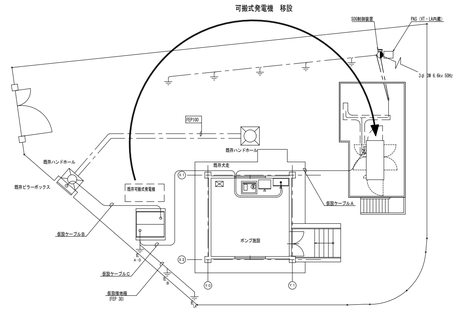
切替法案（Step 2）



仮設ケーブルA 600V 2PNCT 60mm²×3
仮設ケーブルB 6kV CVT 38mm² （FEP80）（既存再使用）
仮設ケーブルC 600V CET/F 150mm² IE/F 22mm²（FEP100）

3−1 既存高圧キュービクル基礎撤去
3−2 既存ケーブル撤去
3−3 耐水化架台設置
3−4 新設電線路、新設接地工事
3−5 引込柱建柱、装柱工事、新設ケーブル布設

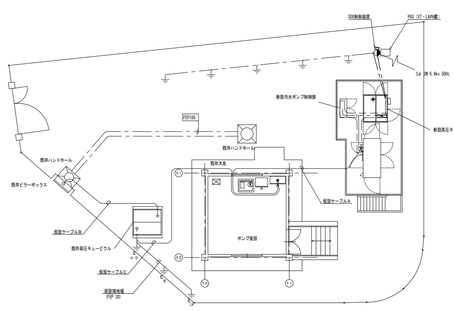
切替法案（Step 3）

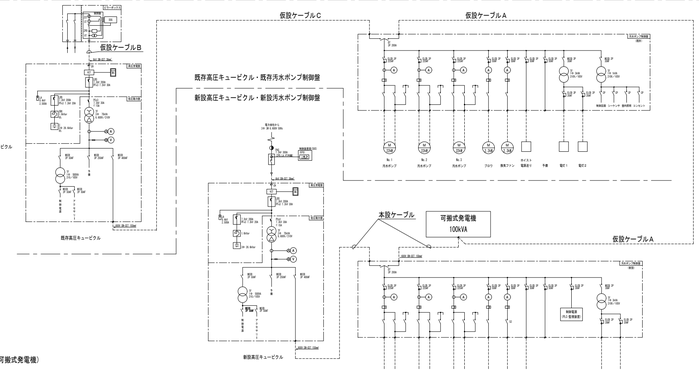


仮設ケーブルA 600V 2PNCT 60mm²×3
仮設ケーブルB 6kV CVT 38mm² （FEP80）（既存再使用）
仮設ケーブルC 600V CET/F 150mm² IE/F 22mm²（FEP100）

4−1 可搬式発電機 耐水化架台へ移設
4−2 仮設ケーブルA 再布設、接続

切替法案（Step 4）



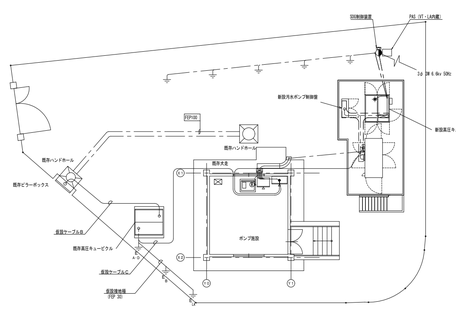


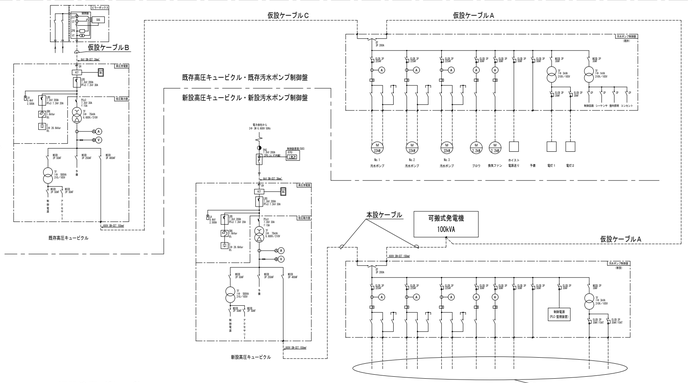
仮設ケーブルA 600V 2PNCT 60mm²×3
仮設ケーブルB 6kV CVT 38mm² （FEP80）（既存再使用）
仮設ケーブルC 600V CET/F 150mm² IE/F 22mm²（FEP100）

5−1 新設高圧キュービクル、新設汚水ポンプ制御盤 耐水化架台へ設置
5−2 新設ケーブル接続（新設高圧キュービクル〜新設汚水ポンプ制御盤〜可搬式発電機）
5−3 引込柱−高圧キュービクル布設・接続・試験
5−4 新設高圧キュービクルから新設汚水ポンプ制御盤へ給電
5−5 新設汚水ポンプ制御盤から負荷設備ケーブルを直線接続位置付近まで布設
5−6 ポンプ井水位計を設置し、新設汚水ポンプ制御盤までケーブルを布設、接続

切替法案（Step 5）

単線結線図



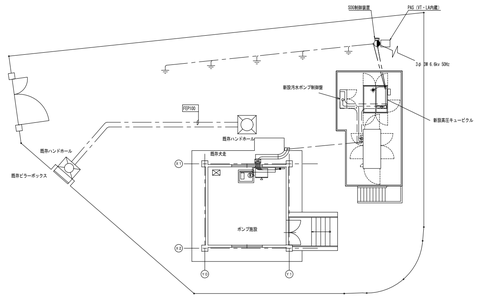


仮設ケーブルA 600V 2PNCT 60mm²×3
仮設ケーブルB 6kV CVT 38mm² （FEP80）（既存再使用）
仮設ケーブルC 600V CET/F 150mm² IE/F 22mm²（FEP100）

6−1 新設汚水ポンプ制御盤、水位計設定、各種試験
6−2 既存汚水ポンプ制御盤から新設汚水ポンプ制御盤へ1負荷づつ切り替え
6−3 全負荷ケーブル切替後、仮設ケーブルA撤去
6−4 既存SOG、高圧キュービクル「切」

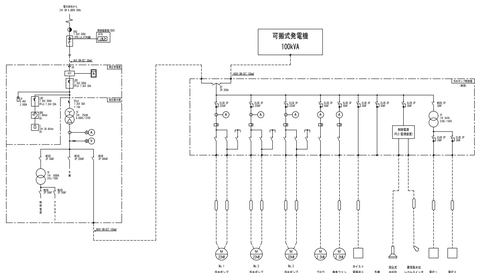
切替法案（Step 6）

単線結線図



7−1 既存高圧キュービクル、接地、既存汚水ポンプ制御盤撤去
7−2 ケーブルラック布設、ケーブルの整線、結束を行う

切替法案（Step 7）



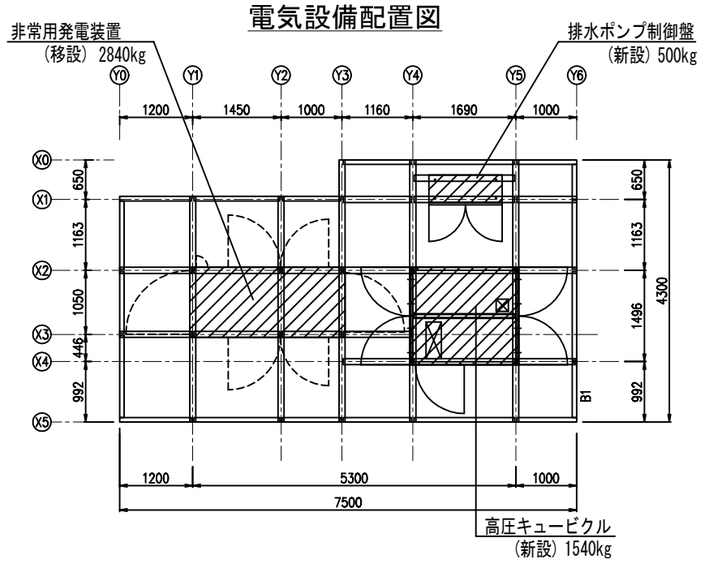
単線結線図

▯ レジン注入型直線接続材

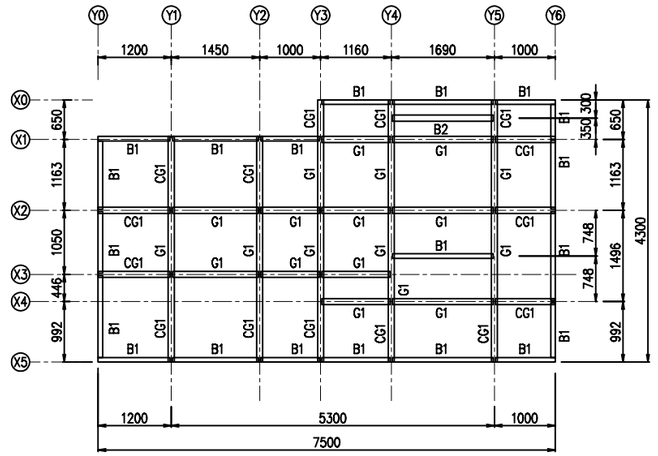
令和 8 年度	
工 事 名	新松戸中継ポンプ場耐水化工事
工事場所	松戸市新松戸七丁目１５７番地
図面種別	更新切替方法（案）
縮　　尺	NON
図面番号	全　１３　葉ノ内　ＰＥ−０９　号
松戸市建設部下水道維持課	

鋼製架台・基礎杭図

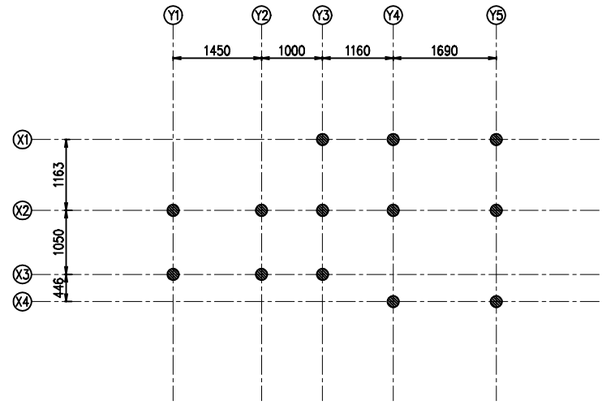
電気設備配置図



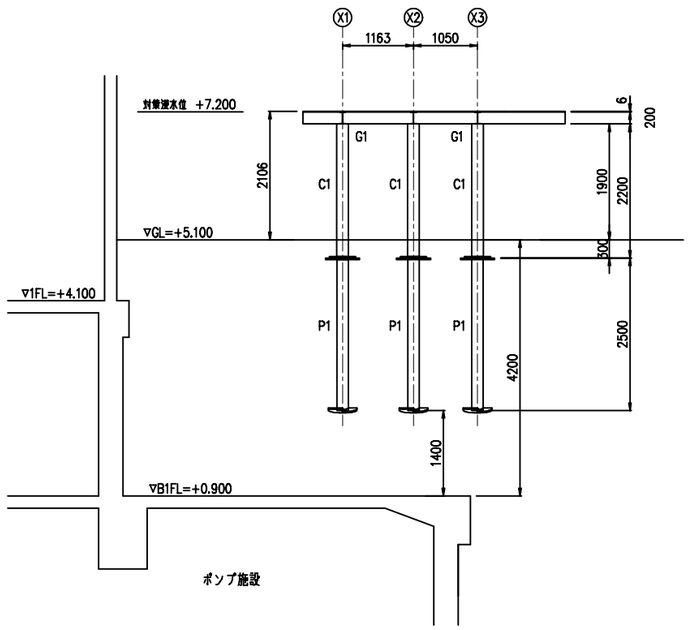
架台鋼材配置図



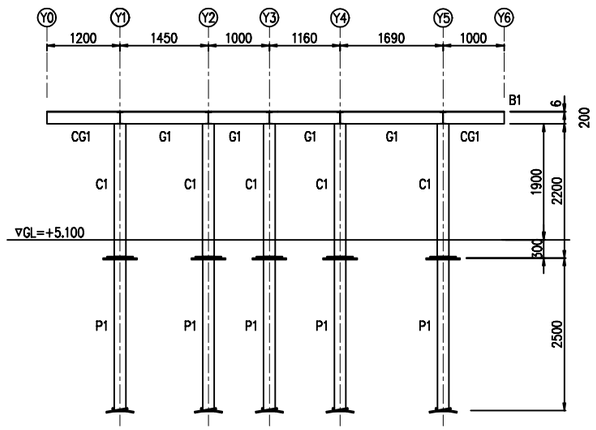
支柱・杭配置図



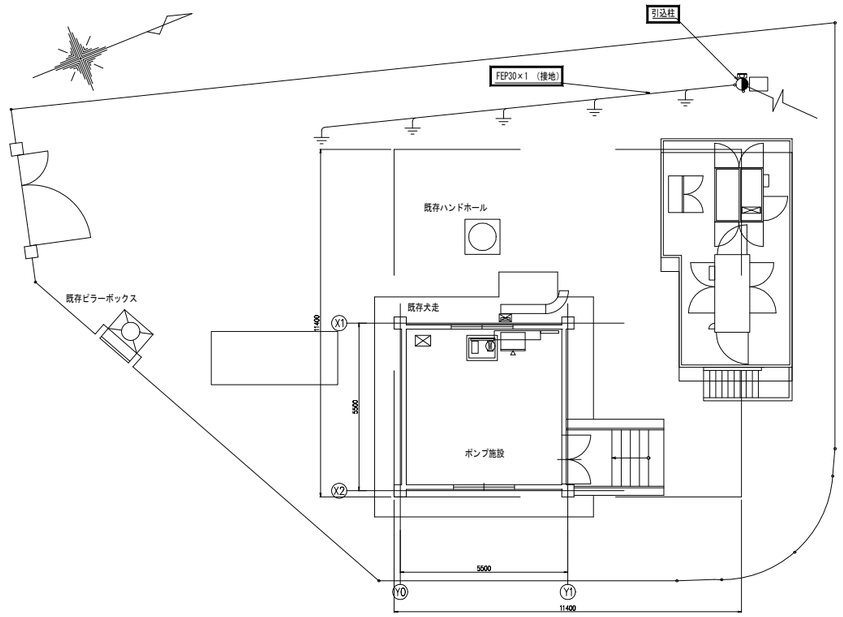
軸組図(1)



軸組図(2)



場内配置図



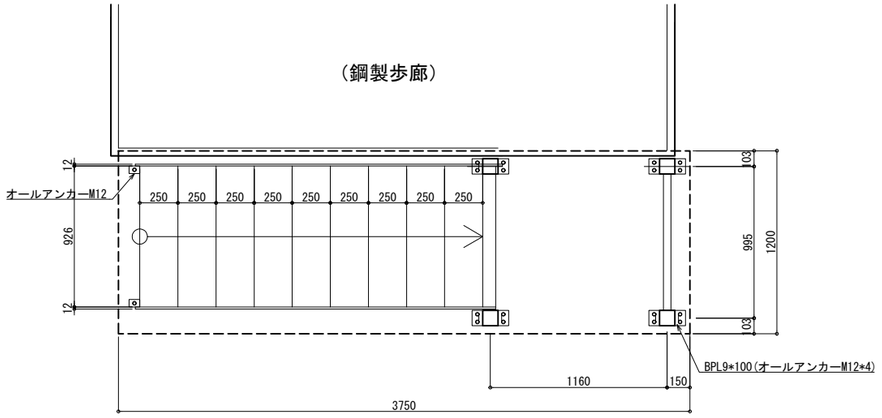
記号	規格・仕様
G1	H-200*100*5.5*8（溶融亜鉛メッキ仕上）
CG1	H-200*100*5.5*8（溶融亜鉛メッキ仕上）
B1	H-150*75*5*7　（溶融亜鉛メッキ仕上）
C1	○-190.7*7　（溶融亜鉛メッキ仕上）
P1	○-190.7*7（回転貫入鋼管杭 羽根径Dw446.0mm）（杭柱一体型）

床材：ファインフロア　W250H40t1.6　ノンスリップ

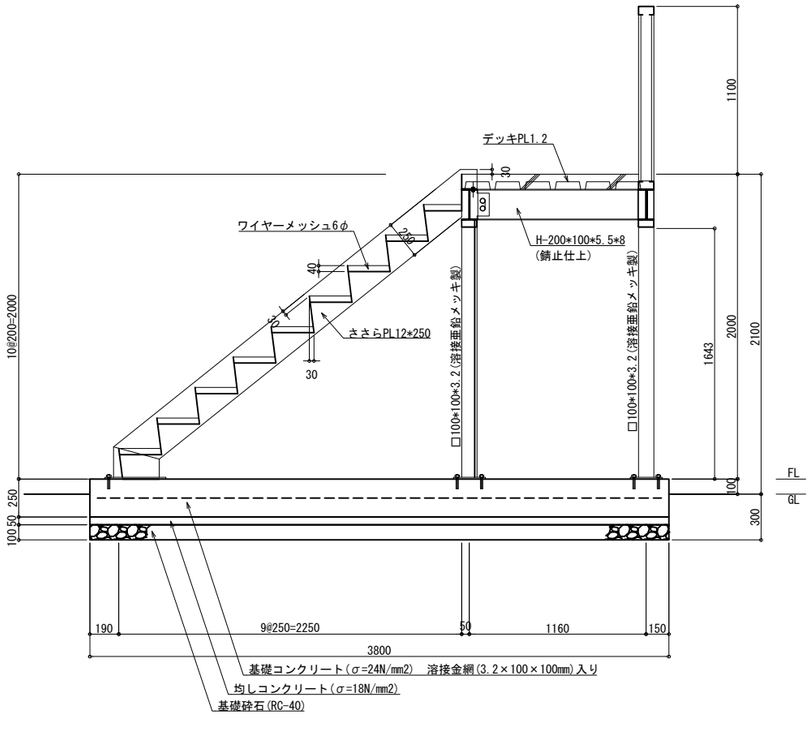
令和 8 年度	
工 事 名	新松戸中継ポンプ場耐水化工事
工事箇所	松戸市新松戸七丁目１５７番地
図面種別	鋼製架台・基礎杭図
縮　尺	Ａ１：１／５０　Ａ３：１／１００
図面番号	全　１３　葉ノ内　Ｃ－０１　号
松戸市建設部下水道維持課	

鋼製架台階段図

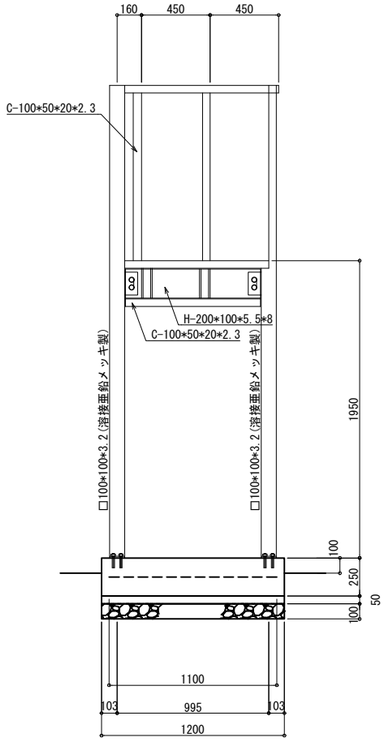
鋼製階段平面図



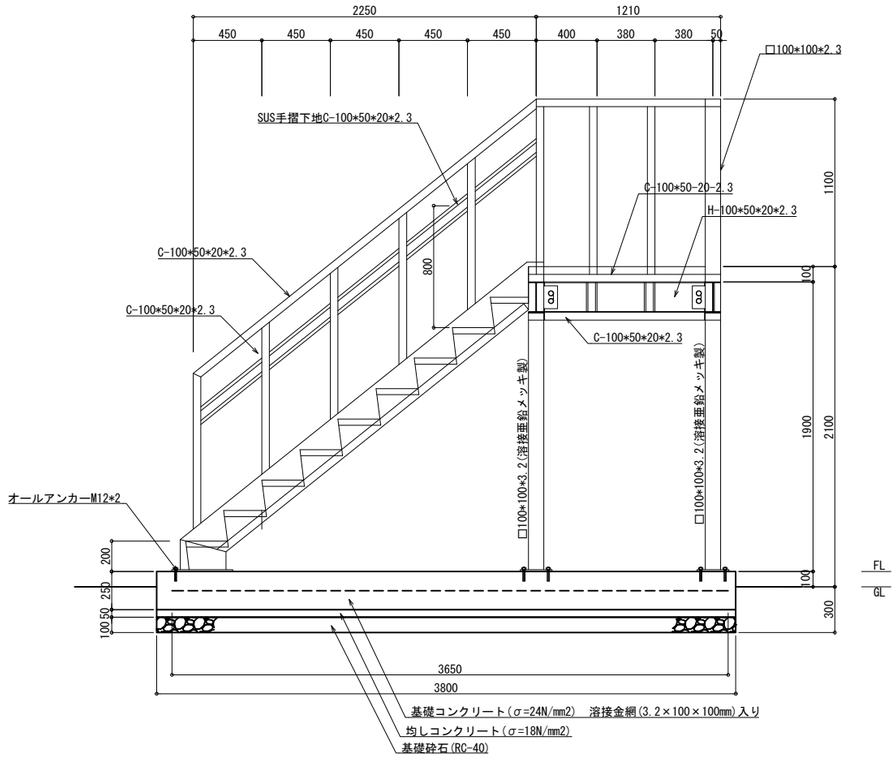
鋼製階段断面図（階段部）



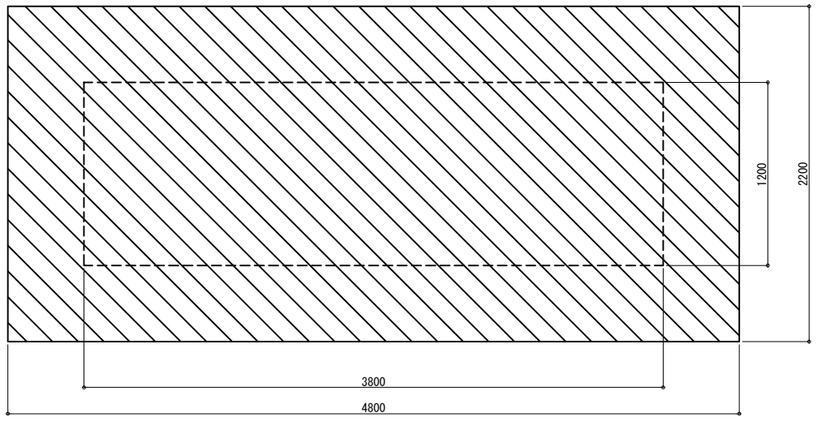
鋼製階段横断図



鋼製階段断面図（手摺部）



土工平面図



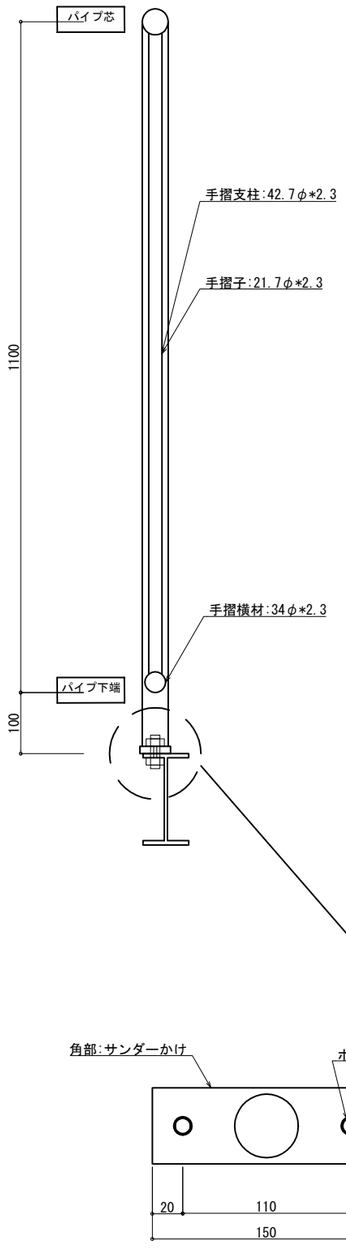
凡　例

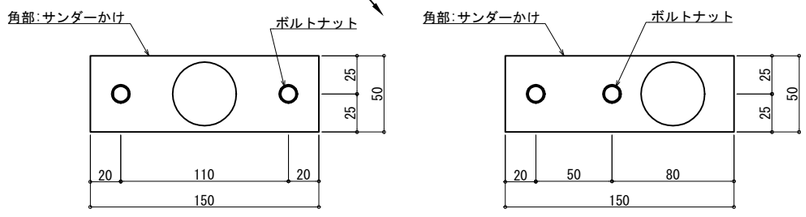
掘削深　GL-370

令和 8 年度	
工 事 名	新松戸中継ポンプ場耐水化工事
工事箇所	松戸市新松戸七丁目１５７番地
図面種別	鋼製架台階段図
縮　　尺	Ａ１：１／２０　Ａ３：１／４０
図面番号	全　１３　葉ノ内　Ｃ－０２　号
松戸市建設部下水道維持課	

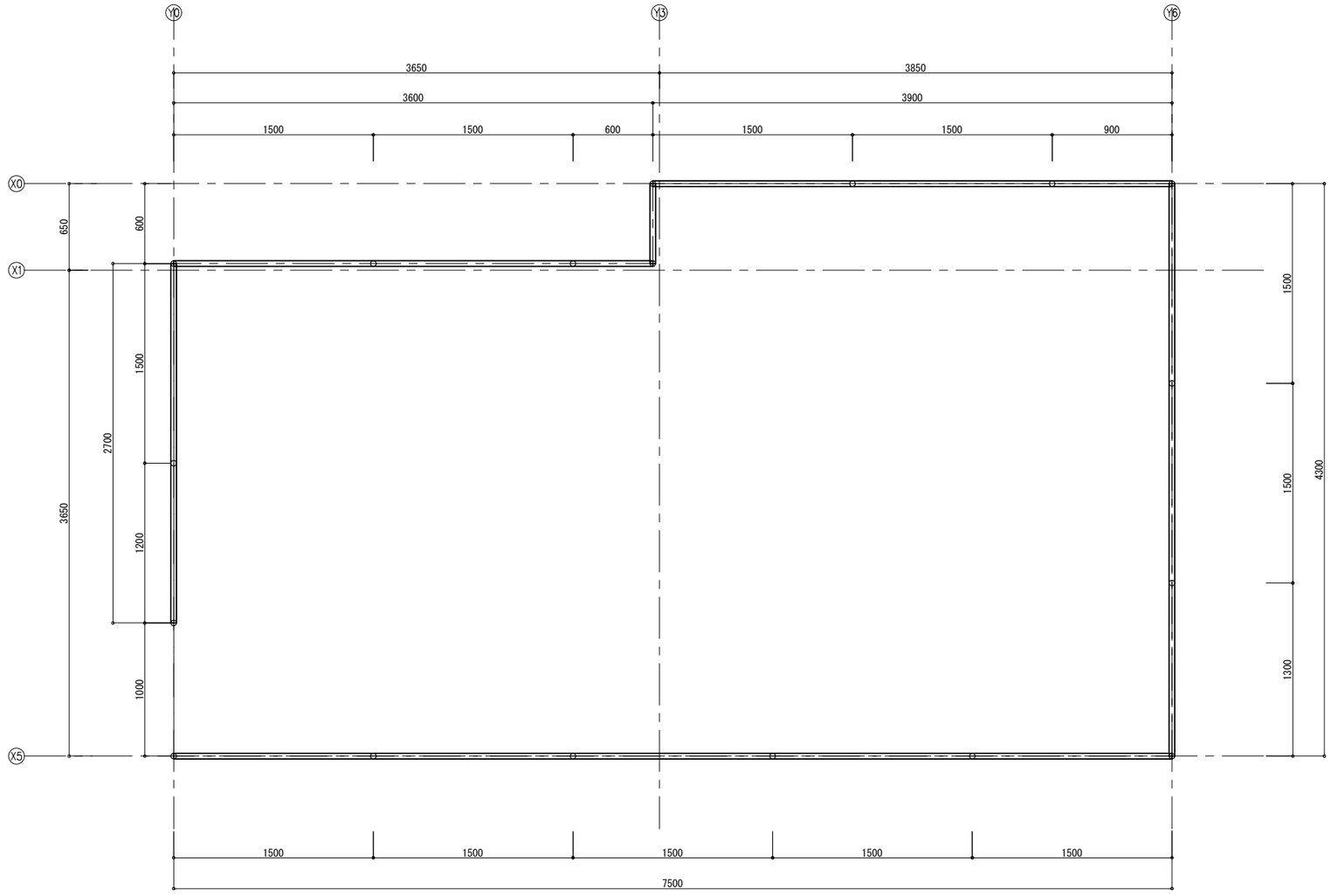
鋼製架台手摺図

手摺詳細図 A1：S=1/5、A3：1/10





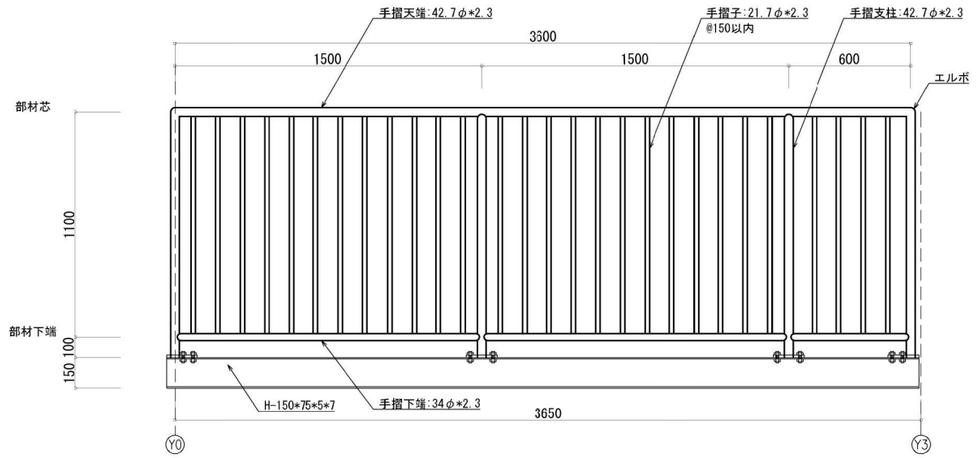
架台上手摺配置図 A1：S=1/20、A3：S=1/40



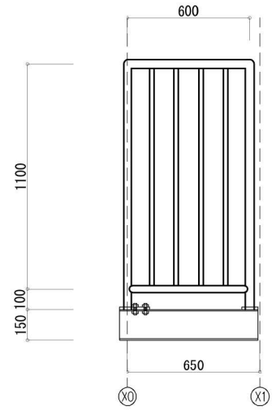
令和 8 年度	
工 事 名	新松戸中継ポンプ場耐水化工事
工事箇所	松戸市新松戸七丁目１５７番地
図面種別	鋼製架台手摺図
縮　尺	図　示
図面番号	全　１３　葉ノ内　Ｃ－０３　号
松戸市建設部下水道維持課	

手摺展開図

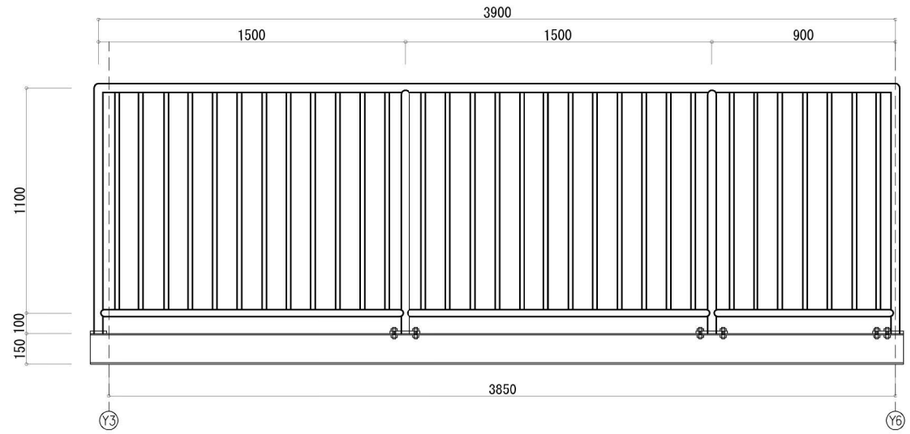
A展開図



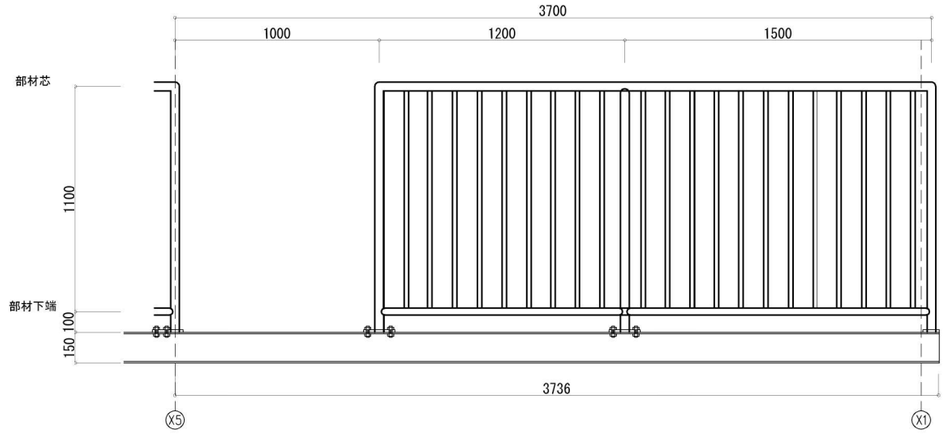
B展開図



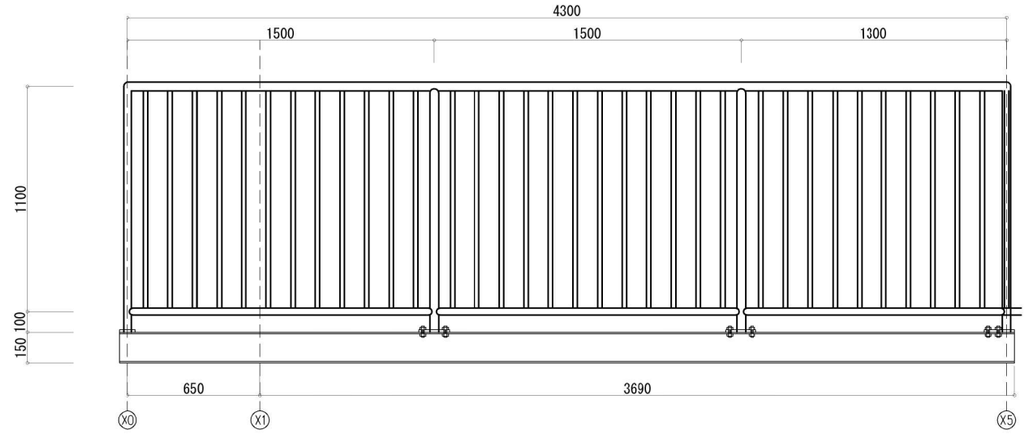
C展開図



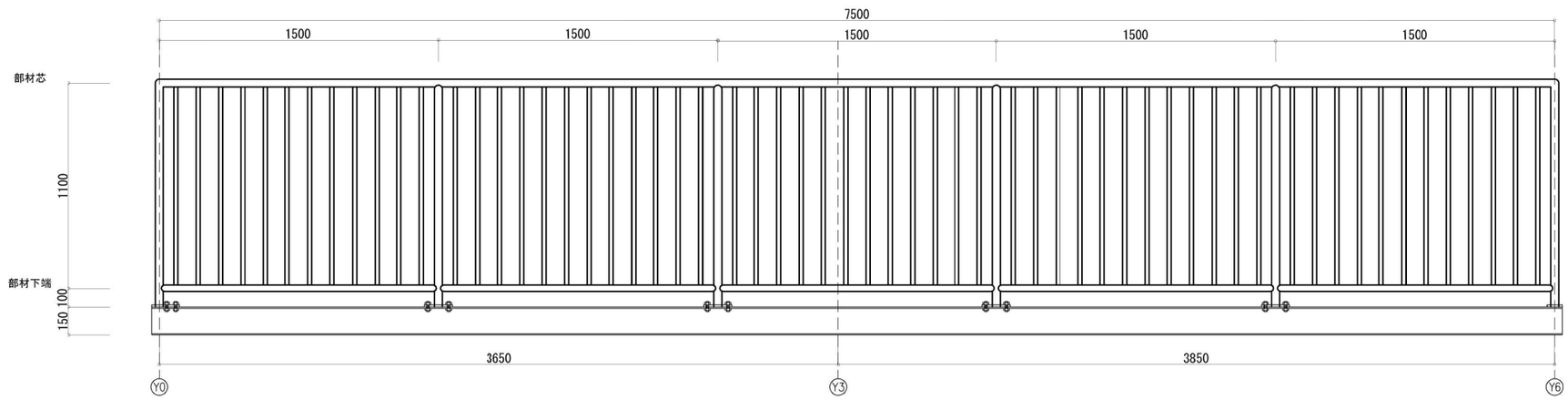
D展開図

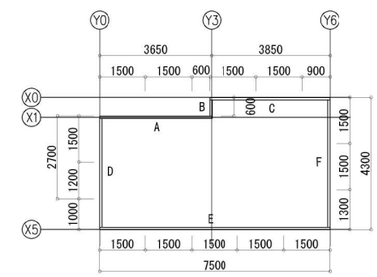


F展開図



E展開図





令和 8 年度	
工 事 名	新松戸中継ポンプ場耐水化工事
工事箇所	松戸市新松戸七丁目１５７番地
図面種別	手摺展開図
縮　　尺	Ａ1：1／15　Ａ3：1／30
図面番号	全　13　葉ノ内　C－04　号
松戸市建設部下水道維持課	

工　　程　　表（参考資料）

工事名称	新松戸中継ポンプ場耐水化工事	工期	自　契約締結日の翌日	施行者	松戸市
工事場所	松戸市新松戸七丁目157番地		至　令和９年７月３０日		建設部　下水道維持課

月日 / 項	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月
準備工								
電気設備工事								
土木工事								
書類作成								